

## 第2期市川市子ども・子育て支援事業計画の取り組み結果について

1. 数値目標に対する達成率（令和6年度分）・・・・・・・・・・1～21ページ
2. 事業ごとの進捗状況（令和6年度分）＜個票＞・・・・・・・・・・22～96ページ

令和7年10月28日  
こども部 こども施策課



1. 数値目標に対する達成率（令和6年度分）

<評価方法> : 進捗状況調査票 抜粋

■ 数値目標に対する達成率										
①進行管理事業(例:2種類の数値目標の場合)										
事業名	No.1	子どもの権利保障啓発事業					所管課	こども家庭支援課		
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実					施策の方向	1.子どもの権利保障のための取り組みの充実			
事業内容	家族の日のイベント、市民向け講演会や関連機関等に対する研修会、および児童虐待予防と親子関係の改善をめざし、開催する講演会等にて、リーフレット、啓発物の配布を通じ、児童虐待の予防及び子どもの権利保障についての周知を図っていきます。									
指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	
①リーフレットの配布	9,000枚	4,800枚	53.3%	9,000枚	4,858枚	54.0%	9,000枚	5,093枚	56.6%	…<1>
②主なイベントおよび講演会の実施	10回	23回	230.0%	10回	17回	170.0%	10回	29回	290.0%	…<2>
総合評価	141.7%			112.0%			173.3%			…<3>

< 1 > の達成率 (%) = 実績 ÷ 数値目標  
 < 2 > の達成率 (%) = 実績 ÷ 数値目標  
  
 進行管理事業の達成率 (%)  
 = ①、②の達成率の平均 < 3 >

②施策の方向の達成率 = 構成する各進行管理事業の達成率の平均

③基本目標の達成率 = 構成する各進行管理事業の達成率の平均

④計画全体の達成率 = 構成する各進行管理事業の達成率の平均

< 施策の方向の達成率 >



①子どもの権利保障のための取り組みの充実

②子どもの居場所の充実

③特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備

④乳幼児期の教育・保育の一体的提供・推進

⑤多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実

⑥地域の子育て力向上のための支援の充実

⑦子育て相談・情報提供の充実

⑧経済支援の充実

⑨母子保健の充実

⑩小児救急医療の充実

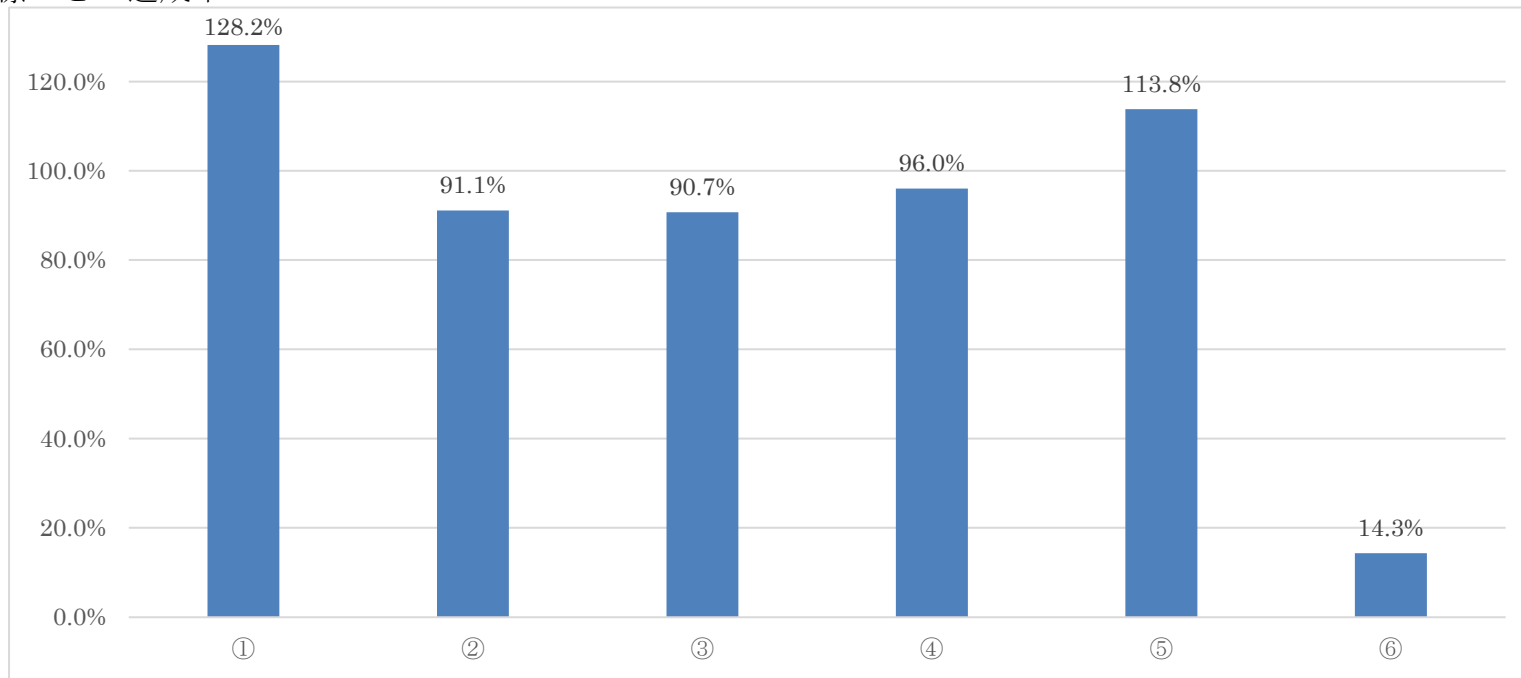
⑪虐待防止・対応のための取り組みの充実

⑫ひとり親家庭等の自立のための支援の充実

⑬発達支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実

⑭仕事と子育ての両立支援

<基本目標ごとの達成率>



- ①子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実
- ②乳幼児期の教育・保育の充実
- ③地域における子育て支援の充実
- ④子どもと子育て家庭の健康づくり
- ⑤配慮を要する子ども・子育て家庭への支援
- ⑥仕事と子育ての両立支援

<計画全体の達成率：全事業の達成率の平均>

**93.5%**

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>基本目標1 子どもの視点の立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実</b>						
<b>施策の方向1 子どもの権利保障のための取り組みの充実</b>						
1	子どもの権利保障啓発事業	家族の日のイベント、市民向け講演会や関連機関等に対する研修会、および児童虐待予防と親子関係の改善をめざし、開催する講演会等にて、リーフレット、啓発物の配布を通じ、児童虐待の予防及び子どもの権利保障についての周知を図っていきます。	①リーフレットの配布 ②主なイベントおよび講演会の実施	①9,000枚 ②10回	①9,222枚 ②21回	156.2%
2	子ども実行委員会設置事業	子ども自身が意見を表明し、参加して、子ども自身が望む遊びや体験を実現させるため、子ども実行委員会を設置します。子ども実行委員会では、定期的に会議を開催し、こども館の主催するイベントや行事をつくりあげていきます。また、他課との連携を通して、実行委員活動の充実をはかります。	①実行委員（延べ） ②実行委員会議（延べ） ③イベント等の実施（実行委員会で作るイベント・行事）	①210人 ②42回 ③7回	①425人 ②123回 ③10回	212.7%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>施策の方向2 子どもの居場所の充実</b>						
3	放課後保育クラブ運営事業（放課後児童健全育成事業）	放課後保育クラブでは、保護者が就労などにより昼間家庭にいない子どもに対し、適切な遊び及び生活の場を提供し健全育成を図ります。今後も小学校の余裕教室等を利用し、児童が安心して過ごせる生活の場の確保に向け整備を推進していきます。また、待機児童が発生する地域において、補助金制度を活用し、民間事業者による放課後児童健全育成事業の参入を促します。	①定員数	①5,940人	①6,042人	101.7%
4	子どもの居場所づくり事業（放課後子ども教室）	市川市立学校の図書館、体育館、使用していない教室等を活用して、授業の終了後等に、すべての子どもが安全に安心して活動することができる場所を確保し、学習の支援、スポーツ、書道その他の活動、地域と学校との交流活動等の機会を継続的に提供します。また、すべての放課後子ども教室において、放課後保育クラブと連携し、一体型の運営を行います。なお、放課後保育クラブとの一体型の運営に関する方策及び放課後子ども教室の実施場所となる学校施設の活用に関する方策については、教育委員会にて適宜協議を行います。 ※一体型の放課後保育クラブ運営事業及び子どもの居場所づくり事業とは、厚生労働省及び文部科学省から発表された、「『新・放課後子ども総合プラン』について」において定められている、放課後児童クラブ及び放課後子供教室（本市でいう放課後保育クラブ運営事業及び子どもの居場所づくり事業）の一体型の運営に則った運営（すべての児童の安全・安心な居場所を確保するため、同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が放課後子供教室の活動プログラムに参加できるもの）をいう。	①施設数	①39ヶ所	①39ヶ所	100.0%
5	こども館運営事業（小学生～18歳未満）	児童福祉法に基づく児童館とそれに準ずる施設を設置し、児童の健全育成のため、遊びの提供を行うとともに児童の居場所をつくり、問題の発見と予防のための相談・情報提供を行います。また、仲間づくりや協調性を育成するための集団あそび、さまざまな体験のできる各種講座等を実施します。	①利用者数（小学生）（延） ②利用者数（中・高校生）（延） ③施設数	①88,000人 ②20,000人 ③14カ所	①47,826人 ②11,821人 ③14カ所	70.6%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>基本目標 2 乳幼児期の教育・保育の充実</b>						
<b>施策の方向 3 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備</b>						
6	特定教育・保育施設の整備	保育に関する「量の見込み」に応じ、教育・保育施設の整備を推進していきます。	①3号認定（0歳）の定員数（当該年度整備分を含む） ②3号認定（1・2歳）の定員数（当該年度整備分を含む） ③2号認定の定員数（当該年度整備分を含む）	①1,260人 ②3,800人 ③6,916人	①1,112人 ②3,768人 ③7,446人	98.4%
7	特定地域型保育事業の整備	保育に関する「量の見込み」に応じ、地域型保育事業の整備を推進していきます。	①3号認定（0歳）の定員数（当該年度整備分を含む） ②3号認定（1・2歳）の定員数（当該年度整備分を含む）	①432人 ②1,111人	①191人 ②804人	58.3%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>施策の方向4 乳幼児期の教育・保育の一体的提供・推進</b>						
8	認定こども園の普及促進	幼稚園・保育園の移行による認定こども園の普及を図ります。	①認定こども園施設	①12カ所	①14カ所	116.7%
<b>基本目標3 地域における子育て支援の充実</b>						
<b>施策の方向5 多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実</b>						
9	時間外保育事業 (延長保育事業)	認可保育園等において、平日および土曜日の通常保育時間を超過して保育サービスを実施します。	①利用者数 (1日あたり)	①7,421人	①6,331人	85.3%
10	休日保育事業	日曜・祝日も就労等により保育が困難な家庭を支援するため、認可保育園で休日保育を実施します。	①利用者数 (延) ②施設数	①83人 ②1カ所	①120人 ②1カ所	122.3%
11	一時預かり事業	パートタイムなどの短期就労や保護者の出産・疾病、リフレッシュ等による一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かり・特定保育を実施します。今後は、一時預かり・特定保育事業をニーズにあわせて拡大していきます。	①利用者数 (延)	①35,958人	①16,244人	45.2%
12	預かり保育事業 (幼稚園)	保護者のリフレッシュや就労等を支援するため、幼稚園の保育時間終了後における預かり保育を実施します。	①利用者数 (延)	①176,000人	①78,521人	44.6%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
13	病児・病後児保育事業	子どもが病氣中もしくは病氣の回復期のため、通常通り保育園等を利用できない場合、保育施設や医療機関等に併設された専用施設で一時的に保育を実施します。	①利用者数（延）	①2,125人	①1,613人	75.9%
14	認可外保育園園児補助金	待機児童の解消を含めた多様なニーズへの対応など認可外保育園の特徴を活かした保育サービスを活用していくため、認可外保育園に通う保護者へ補助金を交付し、経済的負担を軽減します。	①受給者数（実）	①3,000人	①3,968人	132.2%
15	保育園の第三者機関評価事業	保育の質の向上や保護者からの信頼を高めるため、第三者評価機関による審査・評価を行います。また、評価結果を認可保育園全体のものとして改善に取り組み、保育の質の向上を図ります。評価結果は、ホームページ等で広く公開します。	①第三者評価機関による審査・評価の実施（各年度内に実施する施設数）	①5カ所/年	①15カ所/年	300.0%
16	新規参入施設等への巡回支援	新規保育施設に対して、公立保育園園長経験者が、保育施設の現場に出向き、『市川市新設保育園運営支援指針』に基づき基本、開設前から1年間にわたり支援を行い、保育施設等の運営の関係法令、及び保育所保育指針に基づいた教育・保育の質の担保及び向上を図るもの。	①施設数 ②支援回数	①0施設 ②0回	①4施設 ②14回	100.0%
17	こどもショートステイ事業（子育て短期支援事業）	保護者の疾病・出産・出張等により、数日にわたり家庭において児童の養育が困難となった場合、宿泊施設で子どもを預かるサービスを実施します。	①利用者数（延）	①320人	①473人	147.8%
18	子育て支援施設等の職員に対する防犯研修	子育て支援施設等に勤務する職員等に対し防犯・安全対策についての研修を行い、緊急時に子どもを守るための知識や行動について指導します。	①研修回数	①6回	①1回	16.7%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>施策の方向6 地域の子育て力向上のための支援の充実</b>						
19	地域子育て支援センター事業	保育園等のノウハウと機能を活用した地域子育て支援センターを設置して、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の推進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供、各種子育て教室等の開催および子育てサークルの支援を行います。	①施設数 ②利用者数（延べ）	①11カ所 ②103,502人	①11カ所 ②58,286人	78.2%
20	親子つどいの広場事業	子育て中の親子が気軽に集える場として、親子つどいの広場を設置し、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供および地域の支援者への講習を行います。	①施設数 ②利用者数（延べ）	①3カ所 ②45,000人	①4カ所 ②34,992人	105.5%
21	こども館運営事業（小学校就学前まで）	児童福祉法にもとづく児童館とそれに準ずる施設を設置し、遊びの提供を行う乳幼児親子の居場所とするとともに、育児不安解消のための相談・情報提供を行います。また、親子の関係づくり・仲間づくりのための親子活動、父親の育児参加促進のための父親支援、親育ち・親の子育て力向上のための各種講演会等を実施します。	①利用者数（延） ②施設数 ③行事・イベント	①113,000人 ②14カ所 ③4,300回	①163,664人 ②14カ所 ③3,166回	106.1%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
22	ファミリー・サポート・センター事業	育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。引き続き、協力・両方会員の確保を図っていきます。	①利用者数（延）	①20,198人	①14,734人	72.9%
23	産後家庭ホームヘルプサービス	核家族で保護者の親族や近隣からの支援が十分に得られない家庭にあって、特に保護者が産後で一時的に家事、育児ができないとき、ヘルパーを派遣して、支援していきます。	①登録者数（延）	①230人	①326人	141.7%
24	すこやか応援隊事業	すこやかな親子の育ちを目的として、市内のさまざまな地域に向き、訪問・相談・情報提供などの活動を実施し、一人ひとりに合った支援をコーディネートしていく中で、地域に根ざした子育て支援を進めていきます。	①利用件数（延）	①2,800人	①201人	7.2%
25	子育てサークル育成事業	子育てにかかわるサークル活動を行っている団体について、登録制によって活動を支援するとともに、ホームページ等により広く情報を公開することで市民活動の活性化を図ります。	①登録サークル	①45団体	①17団体	37.8%
26	いちかわ子育て支援ボランティア養成事業	地域で子育て支援を行いたいボランティアを養成するため、「子育て支援ボランティア養成講習会」を開催するとともに、修了後の活動をコーディネートすることによって、地域の子育て力の向上を図っていきます。	①受講者数（実） ②講習会の開催	①30人 ②2回	①29人 ②2回	98.4%

<進行管理事業ごとの達成率一覧>

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
27	青少年と乳幼児親子のふれあい交流事業	こども館における健全育成活動の一環として、児童生徒が乳幼児親子とのふれあい・育児体験をすることにより、命の大切さ・親子の絆を学ぶ活動を実施します。	①実施回数 ②参加者数 (小学生) (延) ③参加者数 (中・高校生) 延) ④参加者数 (乳幼児親子) 延)	①40回 ②10人 ③650人 ④850人	①8回 ②0人 ③98人 ④147人	13.1%
28	保育園での子育て支援(地域交流)	保育園の地域交流として、保育園に通園していない未就学児童等を含め、園庭開放、親子のふれあい遊びの支援等を行い、保育園と地域および地域住民同士の交流を図ります。	①参加者(延) ②地域交流の実施 ③実施施設	①12,478人 ②755回 ③61カ所	①3,460人 ②506回 ③90カ所	80.8%
29	幼稚園での子育て支援(園庭開放)	幼稚園の地域交流として、幼稚園に通園していない未就学児童を対象に、園庭を解放し、親子で遊んだり、育児について親同士が話し合える場とします。また、育児についての不安や悩みを受け止め、子育て支援の場とします。	①園庭開放の実施数 ②園庭開放の実施施設	①473回 ②6カ所	①577回 ②6カ所	111.0%
30	中高年ボランティア事業(保育園)	社会を担ってきた中高年を保育ボランティアとして受け入れ、ふれあい遊びや絵本の読み聞かせ、草木の世話等を通じて、保育園児との世代間交流を図ります。	①ボランティア登録者数 ②活動件数 ③実施施設	①59人 ②1,531回 ③23カ所	①23人 ②352回 ③10カ所	35.2%
31	マイ保育園登録制度事業	地域で継続した子育て支援を実施し、産前産後うつや育児不安などを解消していくため、身近な保育園に登録して、妊婦時代には子育て体験、産後は育児相談や地域との交流などの支援を保育園で実施していきます。	①登録者数 ②実施施設	①237人 ②23カ所	①142人 ②21カ所	75.6%
32	青空こども広場事業	就学前のこどもが伸び伸びと遊べる「青空こども広場」を公園の少ない地域等に設置する。	①施設数	①4ヶ所	①3ヶ所	75.0%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>施策の方向7 子育て相談・情報提供の充実</b>						
33	子ども家庭支援センター事業	子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、保健・福祉・教育等に関する基本的な問い合わせやサービスの紹介に応じるとともに、手続きや相談が必要な場合には、関係機関と連携して適切な支援を実施します。	①問合せ・相談件数（延）	①6,500件	①15,693件	241.4%
34	子育てガイドブック	本市における子ども・子育てに関する保健・福祉・教育・医療などの情報を網羅した情報誌を隔年で発行し、子育てにかかる行政の総合的な情報をわかりやすく提供します。	①発行部数	①20,000冊	-	0.0%
35	子育て応援サイト事業	子育て応援サイト「いちかわっこWEB」により、行政情報のみならず、NPOやサークル等によって実施されているさまざまな子育て支援に関する民間情報を提供します。	①アクセス数（月平均）	①13,000件	①6,121件	47.0%
36	利用者支援事業	幼稚園、保育園等の子育て関係機関と連絡調整や情報収集を行い、幼稚園、保育園等の紹介や申請方法等をご案内するとともに、就学前の子どもの所属先についての情報を幅広く提供していきます。また、「出張子育てナビ」として地域に出向き、利用者支援のサービスを展開します。	①実施箇所数 ②子育てナビ利用者数 ③出張子育てナビ利用者数 (延)	①2カ所 ②9,000人 ③600人	①2カ所 ②10,862人 ③41人	75.8%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>施策の方向 8 経済支援の充実</b>						
37	児童手当	子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校修了前の児童を養育している保護者に手当を支給します。	①受給児童数（延）	①700,000人	①641,639人	91.7%
38	子ども医療費助成	子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費（保険適用分）の一部を助成します。	①助成対象者数（実）	①59,135人	①68,747人	116.3%
39	地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援補助金（旧幼稚園類似施設園児補助金）	幼稚園類似施設を利用する保護者の経済的負担軽減を図るため、所得区分に応じて補助金を交付します。	①受給者数（実）	①200人	①11人	5.5%
40	保護児童生徒援助費	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学校教育に必要な費用の一部を援助します。	①認定者数	①2,700人	①2,142人	79.3%
41	特別支援教育就学奨励費	特別支援学級および通級指導教室に通学している児童・生徒の保護者に対し、就学に要する費用の一部を支給します。	①認定者数	①330人	①394人	119.4%
42	子育てのための施設等利用給付	幼児教育の無償化の対象となる幼稚園（新制度移行園を除く）、認可外保育施設、一時預かり事業、病児・病後児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業を利用している児童の保護者の経済的な負担軽減を目的に国の定めた額を上限として給付金を交付します。	①受給者数（実）	①3,571人	①2,910人	81.5%
43	実費徴収に係る補給給付を行う事業	新制度未移行園における、年収360万円未満相当世帯の子ども及び第3子以降（小学校第3学年終了前の子どもから数えて）の子どもに対して給食費の一部を補助します。	①受給者数（実）	①274人	①211人	77.0%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>基本目標 4 子どもと子育て家庭の健康づくり</b>						
<b>施策の方向 9 母子保健の充実</b>						
44	利用者支援事業 (母子保健型)	妊娠・出産・子育てに対する安心感を醸成し、児童虐待の発生予防につなげるため、妊娠期から子育て期にわたる相談支援を行う窓口を設置し、妊娠届出時の相談や子育て・健康相談に保健師等が対応する。	①母子保健相談窓口来所件数	①5,500人	①5,717人	103.9%
45	妊婦・乳幼児健康 診査事業	妊婦・乳児に対して一般健康診査を医療機関に委託して実施し、異常の有無を早期に把握し適切な指導を行い、健康の保持増進を図ります。これについては、母子健康手帳発行時に受診票を配布して費用助成を行います。また、1歳6か月児・3歳児健康診査を実施し、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、精神的・身体的発育発達、基本的な生活習慣、歯科衛生など多角的な健診を行い、幼児の健全な発育・発達を促します。	①受診回数（妊婦一般健康診査） ②受診回数（乳児一般健康診査） ③実施回数（1歳6か月児健康診査） ④実施回数（3歳児健康診査）	①14回 ②2回 ③48回 ④48回	①14回 ②2回 ③48回 ④48回	100.0%
46	母子訪問事業 (乳児家庭全戸 訪問事業)	妊娠・出産・育児に対する不安を軽減するとともに疾病の予防・健康の増進を図るため、地区担当保健師が対応します。妊娠届出書をもとに支援が必要な方や希望する方へ妊婦訪問、出生連絡票をもとに新生児および1～2か月児のいる家庭の全戸訪問、また希望者や育児相談事業、健康診査、健康教育等から支援が必要なご家庭に訪問し、個別あるいはご家庭のニーズに応じた相談・指導を行います。	①利用者数（実）	①4,323人	①3,716人	86.0%
47	保健推進員活動 事業	保健推進員が対象者への個別訪問を行い、市民と行政のパイプ役として保健事業のPR、健康相談窓口の案内、市民の健康の保持・増進が図られるよう支援活動を推進します。	①保健推進員 ②訪問対象件数	①150人 ②4,323人	①60人 ②2,030人	43.5%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
48	プレ親学級	初めて出産を経験する家庭が安心して出産を迎えられるように、妊娠中の過ごし方・栄養・出産・育児についての講義や沐浴実習等を実施します。	①プレ親学級参加者数 (妻・夫) (延) 2ヶ所で 実施	①2,788人	①626人	22.5%
49	4か月赤ちゃん講座	疾病の早期発見・健康保持を図るための支援として、集団で発育、発達、基本的な生活習慣および離乳食の進め方等の講義、計測、個別相談を実施します。また、保護者の育児に関する孤立化の防止を支援します。	①参加組数 (実) ②開催回数	-	-	-
50	離乳食教室 (1回食・2回食)	乳幼児の健やかな成長を目指し、保護者の育児に対する不安を軽減するため、離乳食 (1回食・2回食) の進め方の講義と実演・試食を実施します。	①参加者数 (1回食) (延) ②開催回数 (1回食) ③参加者数 (2回食) (延) ④開催回数 (2回食)	①1,400人 ②58回 ③1,200人 ④56回	①789人 ②48回 ③436人 ④48回	65.3%
51	妊婦栄養教育	妊娠中の食生活について、夫婦一緒に学ぶことをきっかけに、妊婦自身の健康と生まれてくる赤ちゃんを含めた家族の健康づくりにつなげるため、講義、グループワーク等を実施します。	①参加者数 (延) ②開催回数	①550人 ②24回	①177人 ②8回	32.8%
52	妊婦歯科健診・ 歯みがきレッスン	妊婦歯科健診：指定歯科医院にて個別健診を行う。 歯みがきレッスン：歯みがき指導や個別相談を実施する。	①妊婦歯科健診参加者数 (延) ②歯みがきレッスン参加者 数 (延)	①1,000人 ②1,000人	①1,533人 ②467人	100.0%

<進行管理事業ごとの達成率一覧>

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
53	予防接種事業	乳幼児の予防接種は、出生届、転入の際等に「市川市予防接種手帳」を交付、学童以降の予防接種については、対象年齢に個別通知を郵送し、個別に医療機関で実施する。予防接種（ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、麻しん風しん、水痘、おたふくかぜ、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん）を個別に実施します。	①接種者数（延）	①121,100人	①102,300人	84.5%
54	産後ケア事業	産後の援助を十分に受け付けられない産婦およびその乳児に対し、看護職等によるケアを実施することにより、産婦の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、産婦自身がセルフケア能力を育むことで、健やかな育児ができるよう支援する。	①産後ケア事業（宿泊型）利用者数	①50人	①193人	386.0%
55	不妊治療助成事業	不妊治療を受けている夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、治療費を一部助成する。	①申請者数（延）	①515人	①77人	15.0%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>施策の方向10 小児救急医療の充実</b>						
56	急病診療所運営事業	急病診療所においては、休日や夜間の急な病気の初期診療を行うため、内科、小児科、外科（土、日、祝日および年末年始のみ）の診療を実施します。 休日急病等歯科診療所においては、休日に急な歯の痛み等の応急処置を行うために、日、祝日、盆期および年末年始に診療を実施します。	①利用者数（延）（急病診療所） ②医師の待機日数（急病診療所） ③施設数（急病診療所） ④利用者数（延）（休日急病等歯科診療所） ⑤医師の待機日数（休日急病等歯科診療所） ⑥施設数（休日急病等歯科診療所）	①17,000人 ②365日 ③1カ所 ④560人 ⑤73日 ⑥1カ所	①15,198人 ②365日 ③1カ所 ④390人 ⑤76日 ⑥1カ所	93.9%
57	あんしんホットダイヤル	夜間や休日に診療している病院などが知りたいとき、急な病気やケガの対処に困ったとき、健康に関する相談がしたいとき、子育てに関する相談がしたいとき等に問い合わせができ、医師、保健師、看護師などから適切なアドバイスを受けられるフリーダイヤルのテレフォンサービスを24時間年中無休で実施します。	①利用件数	①24,000件	①19,347件	80.6%
58	2次救急医療運営事業	主治医や急病診療所では扱えない病気、入院・手術が必要な場合および急病診療所の対応時間外における受け入れ体制の充実のため、救急医療体制（2次）を整備します。	①利用者数（延） ②医師の待機日数 ③施設数	①104人 ②365日 ③8カ所	①186人 ②365日 ③8カ所	126.3%
59	2.5次救急医療運営事業	脳血管疾患、循環器疾患等の重篤救急患者および小児科をはじめ、夜間・休日の対応の少ない診療科の受け入れ体制の充実のため、1次・2次の救急医療機関の後方病院的役割を担うため整備された救急医療体制（2.5次）を維持します。	①医師の待機日数（小児科医） ②施設数（市内の小児科医療機関）	①365日 ②3カ所	①365日 ②3カ所	100.0%

<進行管理事業ごとの達成率一覧>

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>基本目標5 配慮を要する子ども・子育て家庭への支援</b>						
<b>施策の方向11 虐待防止・対応のための取り組みの充実</b>						
60	要保護児童への支援事業（要保護児童対策地域協議会）	要保護児童等への適切な支援を実施するため、協議会を活用して、関係機関（警察、法務局、児童相談所等国県の関係機関、市関係機関、医師会、歯科医師会、人権擁護委員協議会、学校長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、青少年相談員連絡協議会等）の情報を共有し、支援内容の検討・評価・進行管理を行うなどとして、連携を強化します。	①支援児童数（実）	①550件	①848件	154.2%
61	養育支援訪問事業	児童虐待相談や保健センターの新生児訪問等により、児童の養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、ヘルパー等を派遣して養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行うことにより、家庭における児童の適切な養育環境を確保していきます。	①利用者（実）	①6件	①8件	133.3%
<b>施策の方向12 ひとり親家庭等の自立のための支援の充実</b>						
62	児童扶養手当（母子家庭）	母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。	①支給児童数（延）	①36,320人	①27,280人	75.1%
63	児童扶養手当（父子家庭）	父子家庭の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。	①受給児童数（延）	①1,542人	①1,085人	70.4%
64	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭および父母のいない児童を養育する家庭の福祉の増進を図るため、これらの家庭の医療費（保険適用分）の一部を助成します。	①助成対象者数（実）	①1,276人	①3,681人	288.5%
65	遺児手当支給事業	両親もしくはどちらか一方が死亡、1年以上の生死不明または障がいとなった場合、その児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。	①受給児童数（延）	①2,082人	①1,810人	86.9%
66	ひとり親相談事業	ひとり親家庭の生活や就労に関して、母子自立支援員が相談に応じ、自立に向けた相談・支援を行います。	①相談件数 ②相談員の体制	①210件 ②2人	①219件 ②3人	127.1%
67	母子の緊急一時保護事業	経済的困窮、DV避難、火災等により居所がなくなってしまった母子を、施設において一時的に保護するとともに、自立に向けた支援を行います。	①利用者数（延）	①25世帯	①0世帯	0.0%

<進行管理事業ごとの達成率一覧>

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
68	ひとり親家庭自立支援事業	ひとり親家庭の父・母が技能習得のために教育訓練講座を受講し修了した場合、その費用の一部を支給します。また、同じく看護師等の資格取得するため養成機関で修業する場合、修業期間の生活費として給付金を支給します。就労を希望する場合には、母子自立支援員が相談者の意向や生活状況、就労経験等を考慮して、ハローワークと連携しながら相談者の状況に合った就労支援プログラムを作成し、自立を支援します。	①自立支援教育訓練給付金事業（実） ②高等職業訓練促進給付金等事業（実） ③自立支援プログラム作成事業利用者数（実）	①6人 ②8人 ③5人	①6人 ②15人 ③4人	122.5%
<b>施策の方向13 発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実</b>						
69	こども発達相談室事業	発達の支援が必要な子どもの相談を受け付け、一人ひとりに応じた個別支援計画に基づき、個別及びグループ支援や家族支援を行います。（継続ケースについては、心理療法、言語療法は、小学3年まで。また作業療法、理学療法については、18才まで。）さらに公共施設等で、相談と指導の地域拠点を定期的に設け、継続的な支援を受けやすくなるようにします。	①相談件数 ②対象年齢 ③施設数	①11,000件 ②小学校3年まで ③5カ所	①10,142件 ②18歳まで ③6カ所	104.1%
70	発達障がいへの理解と支援のための研修	障がい児への理解の促進及び教育や保育現場で活かせるような障がいの特性を理解した支援や援助の方法を習得していくための研修や、あおぞらキッズ・おひさまキッズの療育現場を活用した実技研修会を開催していきます。	①受講者数（延） ②研修の実施	①400人 ②40回	①453人 ②23回	85.4%
71	発達障害児保育（保育園）	配慮を要する子どもの保育の実施にあたっては、こども発達センターの指導・助言を受け、連携してすすめていきます。また、保育士に対する研修も実施していきます。	①障がい児受入可能施設	①223カ所	①222カ所	99.6%
72	幼児教育相談	特別支援教育の充実を図るため、幼児教育相談員が公立・私立幼稚園を巡回し、教諭への指導助言や保護者の相談に対応します。また、未就学児をもつ保護者の相談にも対応します。	①相談件数（延） ②相談員体制	①900件 ②5人	①1,299件 ②6人	132.2%

< 進行管理事業ごとの達成率一覧 >

No.	事業名	事業内容	指標	6年度 数値目標	6年度 実績	達成率 (%)
<b>基本目標 6 仕事と子育ての両立支援</b>						
<b>施策の方向 1 4 仕事と子育ての両立支援</b>						
73	雇用促進奨励金 (母子家庭の母等)	母子家庭の母等の常用雇用を促進するため、公共職業安定所の紹介等で母子家庭の母等を雇用した事業主に対して奨励金を交付します。	①受給者数 (実)	①7人	①3人	42.9%
74	いちかわ子育て 応援企業認定事業	子育てにやさしいまちづくりを推進するため、子どもや子育てにやさしい取り組みを進める企業を「いちかわ子育て応援企業」として認定します。	①新規認定企業数	①5社	①0社	0.0%
75	家族の週間事業	内閣府が定める「家族の日」(11月第3日曜日)、その前後一週間の「家族の週間」に併せ、地域の企業・NPO等の協力により、子育て家庭を対象としたイベントを実施するとともに、公共施設の入場料等のサービス等を実施します。これにより、「家族の大切さ」「家族を支える地域の力」について啓発し、地域全体で子育て家庭を支援していきます。	①参加者 (延) ②参加企業・団体	①7,000人 ②50団体	①0人 ②0団体	0.0%

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.1	子どもの権利保障啓発事業	所管課	こども施策課・こども家庭相談課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	1.子どもの権利保障のための取り組みの充実
事業内容	家族の日のイベント、市民向け講演会や関連機関等に対する研修会、および児童虐待予防と親子関係の改善をめざし、開催する講演会等にて、リーフレット、啓発物の配布を通じ、児童虐待の予防及び子どもの権利保障についての周知を図っていきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①リーフレットの配布	9,000枚	4,800枚	53.3%	9,000枚	4,858枚	54.0%	9,000枚	5,093枚	56.6%	9,000枚	5,341枚	59.3%	9,000枚	9,222枚	102.5%
②主なイベントおよび講演会の実施	10回	23回	230.0%	10回	17回	170.0%	10回	29回	290.0%	10回	20回	200.0%	10回	21回	210.0%
総合評価	141.7%			112.0%			173.3%			129.7%			156.2%		
事業費(予算/決算)	126千円	54千円		158千円	145千円		266千円	210千円		353千円	249千円		323千円	233千円	

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	子どもの権利保障の啓発について取り組み方法の見直しを行いながら取り組む。
成果・課題	講演会(こどもの安全基地)やイベント(こどものかかわり方法のトレーニング)の開催により、子どもの権利保障や児童虐待予防の啓発につながった。
今後の取組内容	今後もパンフレット等を活用するなど、子どもの権利保障や児童虐待予防の啓発について様々な周知活動を継続していく。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染症感染拡大の間は、開催方法を工夫し講演会やイベント開催を継続することで、子どもの権利保障や児童虐待予防の啓発を行うことができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.2	子ども実行委員会設置事業	所管課	こども施策課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	1.子どもの権利保障のための取り組みの充実
事業内容	子ども自身が意見を表明し、参加して、子ども自身が望む遊びや体験を実現させるため、子ども実行委員会を設置します。子ども実行委員会では、定期的に会議を開催し、こども館の主催するイベントや行事をつくりあげていきます。また、他課との連携を通して、実行委員活動の充実をはかります。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①実行委員(延べ)	150人	0人	0.0%	180人	73人	40.6%	180人	147人	81.7%	210人	161人	76.7%	210人	425人	202%
②実行委員会議(延べ)	30回	0回	0.0%	36回	23回	63.9%	36回	66回	183.3%	42回	74回	176.2%	42回	123回	293%
③イベント等の実施(実行委員会が作るイベント・行事)	5回	0	0.0%	6回	13回	216.7%	6回	14回	233.3%	7回	18回	257.1%	7回	10回	143%
総合評価	0.0%			107.0%			166.1%			170.0%			212.7%		

事業費(予算/決算)				35千円	12千円		3千円	3千円		3千円	3千円		3千円	3千円	
------------	--	--	--	------	------	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の<今後の取組内容>に対する取り組み	こどもの意見を尊重する場として、こども実行員活動を実施し、令和6年度の実施館を1館増やした。又、継続して実施している館では、回数を増やして実施した。内容としては、それぞれの館を利用している児童の希望に基づき、「美術館アート」「ハロウィンパーティー」「おまつり」「お店屋さん」などを実施した。
成果・課題	こども館を利用する小学生を中心に、こども達のやりたい事を実現する大事な行事となってきている。こども実行員活動を継続することで、こども達からの積極的な発言も聞かれ成長も頼もしく感じられる。この経験の積み重ねを大事にしたい。課題としては、こどもの来館状況に合わせて準備を進めるという難しさがある。
今後の取組内容	こどもの意見表明、参加できる環境づくりを今後も整え、こども実行委員活動を継続していく。

計画期間5年間の総括	コロナ禍など社会状況により行事を実施出来ない時期もあったが、こども館内でも徐々に「こども実行員活動」が広まり、こどもの意見表明や希望する活動を実現できる場を増やしてきた。
------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.3	放課後保育クラブ運営事業(放課後児童健全育成事業)	所管課	学校地域連携推進課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	2.子どもの居場所の充実
事業内容	放課後保育クラブでは、保護者が就労などにより昼間家庭にいない子どもに対し、適切な遊び及び生活の場を提供し健全育成を図ります。今後も小学校の余裕教室等を利用し、児童が安心して過ごせる生活の場の確保に向け整備を推進していきます。また、待機児童が発生する地域において、補助金制度を活用し、民間事業者による放課後児童健全育成事業の参入を促します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①定員数	5,830人	5,839人	100.2%	5,940人	5,913人	99.5%	5,940人	5,921人	99.7%	5,940人	5,949人	100.2%	5,940人	6,042人	101.7%
x															
総合評価	100.2%			99.5%			99.7%			100.2%			101.7%		

事業費(予算/決算)	1,596,282千	1,558,029千円	1,597,452千円	1,544,622千円	1,588,168千円	1,576,743千円	1,671,194千円	1,660,249千円	1,748,846千円	1,688,121千円
------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	余裕教室等を活用した公設学童の増設を学校と調整しながら進めていくとともに、放課後児童健全育成事業の補助金制度を確立することで、民間事業の活用により待機児童の解消を図っていく。
成果・課題	次年度に向けて2クラス増設をした。また令和3年度から引き続き、市川市放課後児童健全育成事業補助金を活用し、民間保育クラブへの補助を行い、待機児童解消に努めている。今後も待機児童解消のため保育クラブ室の増設に努めるが、増設場所と支援員の確保が課題となっている。
今後の取組内容	保育クラブの整備、民間参入促進の取り組みにより、待機児童の解消を図っていく。 指定管理者と協議し、支援員の確保のための方策を検討する。

計画期間5年間の 総括	保育クラブの利用申請数の増加により年々ニーズが高まっているため、今後も待機児童解消のため保育クラブ室の増設に努めるものの、空き教室の不足により環境整備が課題となると考える。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.4	子どもの居場所づくり事業(放課後子ども教室)	所管課	学校地域連携推進課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	2.子どもの居場所の充実
事業内容	<p>市川市立学校の図書館、体育館、使用していない教室等を活用して、授業の終了後等に、すべての子どもが安全に安心して活動することができる場所を確保し、学習の支援、スポーツ、書道その他の活動、地域と学校との交流活動等の機会を継続的に提供します。また、すべての放課後子ども教室において、放課後保育クラブと連携し、一体型の運営を行います。なお、放課後保育クラブとの一体型の運営に関する方策及び放課後子ども教室の実施場所となる学校施設の活用に関する方策については、教育委員会にて適宜協議を行います。</p> <p>※一体型の放課後保育クラブ運営事業及び子どもの居場所づくり事業とは、厚生労働省及び文部科学省から発表された、『新・放課後子ども総合プラン』についてにおいて定められている、放課後児童クラブ及び放課後子供教室(本市でいう放課後保育クラブ運営事業及び子どもの居場所づくり事業)の一体型の運営に則った運営(すべての児童の安全・安心な居場所を確保するため、同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が放課後子供教室の活動プログラムに参加できるもの)をいう。</p>			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①施設数	15ヵ所	15ヵ所	100.0%	27ヵ所	23ヵ所	85.2%	39ヵ所	31ヵ所	79.5%	39ヵ所	39ヵ所	100.0%	39ヵ所	39ヵ所	100.0%
総合評価	100.0%			85.2%			79.5%			100.0%			100.0%		

事業費(予算/決算)	59,925千円	54,988千円	132,025千円	130,528千円	211,866千円	210,844千円	309,239千円	308,933千円	345,775千円	344,780千円
------------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度より、9ヵ所全てのピーニングを運営形態の一部を変更し、放課後子ども教室として運営を開始した。</li> <li>令和2年度より、新たに6ヵ所の放課後子ども教室を開設した。</li> <li>令和3年度より、新たに8ヵ所の放課後子ども教室を開設した。</li> <li>令和4年度より、新たに8ヵ所の放課後子ども教室を開設した。</li> <li>令和5年度より、新たに8ヵ所の放課後子ども教室を開室した。</li> </ul>
成果・課題	<p>【成果】地域の人々とのふれあいや異年齢間の交流を通じ、子どもたちの健全育成につながっている。</p> <p>【課題】非常変災時の対応について協議中である。</p>
今後の取組内容	非常変災時の対応について、各関係部署と協議していく。

計画期間5年間の 総括	子どもの遊べる場所が減少している昨今、子どもの居場所の提供という面で一定の効果を上げている。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.5	こども館運営事業(小学生～18歳未満)	所管課	こども施策課
基本目標	1.子どもの視点に立ち、子どもの最善の利益を支える仕組みの充実		施策の方向	2.子どもの居場所の充実
事業内容	児童福祉法に基づく児童館とそれに準ずる施設を設置し、児童の健全育成のため、遊びの提供を行うとともに児童の居場所をつくり、問題の発見と予防のための相談・情報提供を行います。また、仲間づくりや協調性を育成するための集団あそび、さまざまな体験のできる各種講座等を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(小学生)(延)	84,500人	10,153人	12.0%	87,250人	26,551人	30.4%	87,250人	33,391人	38.3%	87,750人	43,169人	49.2%	88,000人	47,826人	54.3%
②利用者数(中・高校生)(延)	18,500人	2,938人	15.9%	19,250人	7,178人	37.3%	19,250人	9,552人	49.6%	19,750人	10,728人	54.3%	20,000人	11,821人	59.1%
③施設数	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所 (未広1月閉館 本行徳2月閉館)	98.2%
総合評価	42.6%			55.9%			62.6%			67.8%			70.6%		

事業費(予算/決算)	130千円	130千円		1,170千円	1,166千円		1,244千円	1,239千円		1,181千円	1,179千円		1,285千円	1,284千円	
------------	-------	-------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	こども館基本方針、重点課題として、「こどもの意見表明、参加できる環境づくり」を掲げ、こどもたちの声を取り入れながら事業や日常運営を行う。
成果・課題	今年度より本格実施の中高校生タイムでも、こどもたちの環境やニーズを捉え、フードパントリーを取り入れた。この活動は今後も続けていき、利用者が望む中高生タイムの在り方について希望を確認していく必要がある。
今後の取組内容	重点課題の「こどもの意見表明、参加出来る環境づくり」を継続して取り組むことで、こどもの意見を尊重した、こども館運営を行い、こどもの居場所としての役割を果たしていく。

計画期間5年間の 総括	コロナ禍を経て、少しずつこどもたちの日常が戻り、来館者数も年々増えている。家庭でもなく学校でもない第3の居場所として、こどもたちが主体的過ごせる場所となるよう、こどもたちの視点で日常運営や事業等を進め、地域社会におけるこどもの健全育成を支援してきた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.6	特定教育・保育施設の整備	所管課	こども施策課
基本目標	2. 乳幼児期の教育・保育の充実		施策の方向	3. 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備
事業内容	保育に関する「量の見込み」に応じ、教育・保育施設の整備を推進していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①3号認定(0歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	1,100人	1,037人	94.3%	1,180人	1,070人	90.7%	1,230人	1,082人	88.0%	1,260人	1,095人	86.9%	1,260人	1,112人	88.3%
②3号認定(1・2歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	3,480人	3,485人	100.1%	3,640人	3,637人	99.9%	3,740人	3,664人	98.0%	3,800人	3,728人	98.1%	3,800人	3,768人	99.2%
③2号認定の定員数(当該年度整備分を含む)	6,436人	6,676人	103.7%	6,676人	6,973人	104.4%	6,826人	7,151人	104.8%	6,916人	7,418人	107.3%	6,916人	7,446人	107.7%
総合評価	99.4%			98.3%			96.9%			97.4%			98.4%		
事業費(予算/決算)	1,537,404千円	1,080,408千円		1,418,826千円	1,229,984千円		805,598千円	778,251千円		832,980千円	642,573千円		1,117,811千円	844,603千円	

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	施設の不足が見込まれる地域において、補助金の交付を受けて施設整備を実施する事業者を公募により選定し、施設整備を進めたほか、既存園の改修による定員拡大を図った。その他、施設整備を促進するための固定資産税及び都市計画税の減免措置や賃借料補助金の交付を継続した。
成果・課題	公立保育園の民営化に伴う新設整備2施設、公立保育園の閉園2施設、幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行2施設、既存施設の定員変更7施設、計85人の定員拡大を図った結果、国基準待機児童ゼロを継続した。
今後の取組内容	地域ごとの需要を考慮し、必要に応じて新設整備のほか、既存施設の活用を検討していく。

計画期間5年間の 総括	令和3年4月に国基準待機児童ゼロを達成し、令和7年4月まで5年間継続していることから、適切な整備を進めることができたと考えられる。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.7	特定地域型保育事業の整備	所管課	こども施策課
基本目標		2. 乳幼児期の教育・保育の充実	施策の方向	3. 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の計画的整備
事業内容	保育に関する「量の見込み」に応じ、地域型保育事業の整備を推進していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①3号認定(0歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	240人	177人	73.8%	318人	189人	59.4%	390人	189人	48.5%	432人	189人	43.8%	432人	191人	44.2%
②3号認定(1・2歳)の定員数(当該年度整備分を含む)	727人	674人	92.7%	883人	764人	86.5%	1,027人	782人	76.1%	1,111人	782人	70.4%	1,111人	804人	72.4%
総合評価	83.2%			73.0%			62.3%			57.1%			58.3%		

事業費(予算/決算)	233,320千円	212,518千円		174,990千円	139,893千円		29,574千円	29,574千円		29,574千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	----------	----------	--	----------	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	認可外保育施設から小規模保育事業所への移行に関する相談をうけ、施設の認可を行ったほか、既存施設と相談のうえ、定員拡大を図った。
成果・課題	認可外保育施設から小規模保育事業所への移行1施設、家庭的保育事業の廃止1施設、既存施設の定員変更3施設、計24人の定員拡大を図った結果、国基準待機児童ゼロを継続した。
今後の取組内容	地域ごとの需要を考慮し、小規模保育事業所の整備が適当である場合は必要に応じて新設整備を検討するとともに、既存施設の活用を検討していく。

計画期間5年間の 総括	令和3年4月に国基準待機児童ゼロを達成し、令和7年4月まで5年間継続していることから、適切な整備を進めることができたと考えられる。 達成率の総合評価は58.3%であるものの、特定教育保育施設とあわせ、保育需要に対し必要な受け皿が確保できている。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.8	認定こども園の普及促進	所管課	こども施策課
基本目標	2. 乳幼児期の教育・保育の充実		施策の方向	4. 乳幼児期の教育・保育の一体的提供・推進
事業内容	幼稚園・保育園の移行による認定こども園の普及を図ります。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①認定こども園施設数	9ヵ所	6ヵ所	66.7%	12ヵ所	10ヵ所	83.3%	12ヵ所	10ヵ所	83.3%	12ヵ所	12ヵ所	100.0%	12ヵ所	14ヵ所	116.7%
総合評価	66.7%			83.3%			83.3%			100.0%			116.7%		

事業費(予算/決算)	1,092,034千円	766,632千円		331,270千円	331,270千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-------------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	現在運営している施設の種別(幼稚園か保育園か)、施設の所在する地域、希望する認定こども園の類型等により、認定こども園への移行に係る影響が異なるため、移行希望の相談に対し、個別事例に応じて相談支援等を行った。
成果・課題	幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行2施設、既存認定こども園の定員変更3施設、計39人の定員拡大を図った結果、国基準待機児童ゼロを継続した。 なお、今後の認定こども園の整備に関しては、施設の所在する地域の需要を十分に調査研究していく必要がある。
今後の取組内容	引続き移行希望の相談があった場合には、教育・保育それぞれの施設の状況や需要を確認し、個別事例に応じて相談支援等を行っていく。

計画期間5年間の 総括	既存施設から認定こども園への移行の相談に応じ、5年間で9施設が移行した。一貫した教育・保育の提供が可能な施設が増え、地域の子育て支援の充実を図ることができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.9	時間外保育事業(延長保育事業)	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	認可保育園等において、平日および土曜日の通常保育時間を超えて保育サービスを実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(1日あたり)	7,229人	6,418人	88.8%	7,212人	6,879人	95.4%	7,228人	6,966人	96.4%	7,281人	6,459人	88.7%	7,421人	6,331人	85.3%
総合評価	88.8%			95.4%			96.4%			88.7%			85.3%		

事業費(予算/決算)	157,574千円	176,810千円		241,831千円	228,616千円		248,380千円	238,079千円		250,800千円	246,764千円		251,721千円	248,633千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	長時間の保育を実施する私立保育園等の経費について、補助を継続することで子育て家庭への支援が行われた。
成果・課題	保育標準時間・短時間を超えて、長時間の保育を行うことで、様々な就労形態の子育て家庭の支援に寄与した。
今後の取組内容	長時間保育の必要な家庭への支援のため、引き続き事業を継続していく。

計画期間5年間の 総括	5年間の平均達成率が90.9%を超えており、ニーズが高いことが読み取れる。長時間保育の必要な家庭への支援のため、引き続き事業を継続していく。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.10	休日保育事業	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	日曜・祝日も就労等により保育が困難な家庭を支援するため、認可保育園で休日保育を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	実績
①利用者数(延)	83人	53人	63.9%	83人	225人	271.1%	83人	198人	238.6%	83人	216人	260.2%	83人	120	144.6%
②施設数	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%
総合評価	81.9%			185.5%			169.3%			180.1%			122.3%		

事業費(予算/決算)				3,514千円	3,448千円		3,478千円	3,370千円		3,383千円	3,861千円		3,531千円	3,916千円	
------------	--	--	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	引き続き、前年度と同じ施設数で事業を行った。
成果・課題	昨年度と比較し、休日保育を利用する子どもが減少した一方、市民のニーズが高いという声も聞かれる。
今後の取組内容	今後の利用者数を注視するとともに、休日保育を実施する施設を増やしていけるよう引き続き呼びかけていく。

計画期間5年間の 総括	初年度以外は①利用者数(延)は100%を超えており、市民のニーズが高いと考えられる。5年間を通して1施設のためのため、今後も実施する施設を増やしていけるよう引き続き呼びかけていく。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.11	一時預かり事業	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	パートタイムなどの短期就労や保護者の出産・疾病、リフレッシュ等による一時的な保育ニーズに応えるため、一時預かり・特定保育を実施します。今後は、一時預かり・特定保育事業をニーズにあわせて拡大していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	32,963人	10,996人	33.4%	33,519人	13,112人	39.1%	34,164人	15,154人	44.4%	34,972人	16,891人	48.3%	35,958人	16,244人	45.2%
総合評価	33.4%			39.1%			44.4%			48.3%			45.2%		

事業費(予算/決算)	58,292千円	53,131千円		67,342千円	50,543千円		65,634千円	50,873千円		60,987千円	53,574千円		57,587千円	50,577千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	補助金園2施設が事業2年目となり安定したため延べ利用者数が増加した。
成果・課題	0歳児の利用や利用希望が増加傾向にあるが、保育士や事業実施施設がニーズに追いついていない。
今後の取組内容	引き続き、保護者のニーズや保育施設の状況、地域のバランスを勘案しながら、事業の担い手の確保に努めていく。

計画期間5年間の 総括	令和6年度は保育ルーム事業廃止により実績が減少しているが、令和2年度から令和5年度において延べ利用者数が増えており、一時預かりのニーズはまだ高いことが読み取れる。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.12	預かり保育事業(幼稚園)	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	保護者のリフレッシュや就労等を支援するため、幼稚園の保育時間終了後における預かり保育を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	133,760人	58,172人	43.5%	140,800人	63,526人	45.1%	147,840人	65,590人	44.4%	161,920人	76,689人	47.4%	176,000人	78,521人	44.6%
総合評価	43.5%			45.1%			44.4%			47.4%			44.6%		

事業費(予算/決算)	82,393千円	82,393千円		90,342千円	87,336千円		83,552千円	86,259千円		94,950千円	100,144千円		103,801千円	106,327千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	就労型預かり保育実施園の拡大及び実施園への時間延長協力依頼を行い、幼児教育の振興と待機児童ゼロの継続を図っていく。
成果・課題	令和7年4月時点での保育施設待機児童数が0人となっており、本制度の果たした役割は大きい。利用者も増加しており、保護者が就労している場合でも幼稚園の利用が可能となっている。
今後の取組内容	制度を継続し、園と協力しながら、幼児教育の振興と待機児童ゼロを続けていく。

計画期間5年間の 総括	令和3年度以降、待機児童ゼロを継続できていること、また、認定こども園に移行する園が増えている中でも延べ利用者数が増加していることから、本制度には一定の効果があったものと考えられる。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.13	病児・病後児保育事業	所管課	こども施策課・こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	子どもが病気中もしくは病気の回復期のため、通常通り保育園等を利用できない場合、保育施設や医療機関等に併設された専用施設で一時的に保育を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	2,066人	86人	4.2%	2,073人	24人	1.2%	2,070人	514人	24.8%	2,087人	1,095人	52.5%	2,125人	1,613人	75.9%
総合評価	4.2%			1.2%			24.8%			52.5%			75.9%		

事業費(予算/決算)	32,480千円	22,799千円		33,896千円	33,588千円		78,110千円	74,476千円		93,465千円	89,734千円		119,121千円	118,176千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	すべての利用希望者が事業を活用できるよう情報発信を行った。
成果・課題	新規施設の拡大により、利用者が大幅に増となった。施設の受入定員に対する利用率は病児保育は35%、病後児保育は17%であることから、利用希望者はおおむね希望どおりに施設を利用できたものと考えている。
今後の取組内容	施設利用率向上のため、保育施設や幼稚園のほか、小学校等への情報発信を検討していく。

計画期間5年間の 総括	計画期間中に病児保育施設の新設を2か所行うことで、利用者は大幅に増となった。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.14	認可外保育園園児補助金	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	待機児童の解消を含めた多様なニーズへの対応など認可外保育園の特徴を活かした保育サービスを活用していくため、認可外保育園に通う保護者へ補助金を交付し、経済的負担を軽減します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給者数(実)	3,000人	2,902人	96.7%	3,000人	2,576人	85.9%	3,000人	2,001人	66.7%	3,000人	3,076人	102.5%	3,000人	3,968人	132.20%
総合評価	96.7%			85.9%			66.7%			102.5%			132.2%		

事業費(予算/決算)	69,548千円	69,370千円		69,380千円	56,972千円		55,147千円	43,526千円		41,015千円	68,994千円		87,752千円	90,672千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	引き続き市公式Webサイトや園を通じた制度周知を行い、保護者の経済的負担の軽減を図っていく。
成果・課題	簡易保育園に在園する園児の保護者に補助金を交付することで、保護者の経済的負担を軽減し、乳幼児の健全な育成に努めた。
今後の取組内容	制度を継続し、認可外保育園の特徴を活かした保育サービスを活用していく。

計画期間5年間の 総括	本補助金の利用者は少子化や認可保育園の待機児童ゼロの達成に伴い減少傾向にあったが、令和5年10月より多子加算の条件を世帯の第2子以降に拡大したことにより利用者が増加し、保護者の経済的負担の軽減と児童の預け先の選択肢を広げることに寄与した。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.15	保育園の第三者機関評価事業	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	保育の質の向上や保護者からの信頼を高めるため、第三者評価機関による審査・評価を行います。また、評価結果を認可保育園全体のものとして改善に取り組み、保育の質の向上を図ります。評価結果は、ホームページ等で広く公開します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①第三者評価機関による審査・評価の実施(各年度内に実施する施設数)	5カ所/年	5カ所/年	100.0%	5カ所/年	7カ所/年	140.0%	5カ所/年	12カ所/年	240.0%	5カ所/年	11カ所/年	220.0%	5カ所/年	15カ所/年	300.0%
総合評価	100.0%			140.0%			240.0%			220.0%			300.0%		

事業費(予算/決算)	1,492千円	734千円		5,509千円	1,005千円		5,538千円	1,777千円		1,033千円	1,624千円		1,905千円	2,205千円	
------------	---------	-------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	第三者評価機関の審査を受け評価を実施することの意義を周知した。
成果・課題	第三者評価に係る公定価格上の加算があることの周知は行うことはできたが、第三者評価機関の審査・評価を実施することの利点をさらに周知する必要がある。
今後の取組内容	監査等で施設に直接訪問した際に、第三者評価機関の審査を受け評価を実施することの意義を引き続き周知する。

計画期間5年間の 総括	全年度達成率100%を超えており、年々増加している。第三者評価機関の審査・評価を実施することの利点をさらに周知していく。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.16	新規参入施設等への巡回支援	所管課	幼保施設管理課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	新規保育施設に対して、公立保育園園長経験者が、保育施設の現場に出向き、『市川市新設保育園運営支援指針』に基づき基本、開設前から1年間にわたり支援を行い、保育施設等の運営の関係法令、及び保育所保育指針に基づいた教育・保育の質の担保及び向上を図るもの。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①施設数	23施設	44施設	191.3%	21施設	37施設	176.2%	17施設	11施設	64.7%	10施設	5施設	50.0%	0施設	4施設	100.0%
②支援回数	138回	153回	110.9%	126回	138回	109.5%	102回	65回	63.7%	60回	30回	50.0%	0回	14回	100.0%
総合評価	151.1%			142.9%			64.2%			50.0%			100.0%		

事業費(予算/決算)										千円	千円		千円	千円	
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	----	--	----	----	--

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	前年度に引き続き、新規開設保育施設に対する訪問支援や研修会を実施するとともに、施設長交代施設についても訪問支援等を実施した。(実績は新規開設施設分のみ記載)
成果・課題	新規開設保育施設に対し、延べ6回の訪問巡回支援や年2回の研修を実施すること等により、施設開設当初から安定した保育が実施されるとともに、関係法令及び保育所保育指針に基づく保育の質の確保及び向上が図られた。 この他、施設長交代施設に対して、早期に訪問支援等を実施することで、施設長交代後の保育所運営の状況を確認するとともに、保育の質の確保及び向上が図られた。
今後の取組内容	引き続き、新規開設保育施設に対する訪問支援や研修会を実施するとともに、施設長交代施設についても訪問支援等を行う。

計画期間5年間の 総括	計画期間中の5年間で、新たに開設した53の保育施設に対して訪問支援等を実施した。この取り組みにより、全ての施設において開設当初からより安定した保育が実施された。 令和5年度からは施設長交代施設についても訪問支援等を実施し、施設運営が不安定になりがちな施設長交代後の保育所運営の状況を確認するとともに、保育の質の確保及び向上が図られた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.17	こどもショートステイ事業(子育て短期支援事業)	所管課	こども家庭相談課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	保護者の疾病・出産・出張等により、数日にわたり家庭において児童の養育が困難となった場合、宿泊施設で子どもを預かるサービスを実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	320人	490人	153.1%	320人	652人	203.8%	320人	639人	199.7%	320人	671人	209.7%	320人	473人	147.8%
総合評価	153.1%			203.8%			199.7%			209.7%			147.8%		

事業費(予算/決算)	4,226千円	4,226千円		6,014千円	6,014千円		6,932千円	6,622千円		7,322千円	7,041千円		8,095千円	7,774千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	市民がより利用しやすいサービスになるよう施設との協議を実施した。
成果・課題	相談対応時に子育て支援サービスとして周知を行ったが、昨年度より利用者数は減少した。
今後の取組内容	引き続きサービスを周知していくとともに、個別事情を踏まえたサービス利用につながるよう検討する。

計画期間5年間の 総括	保護者の疾病、出産、出張等により、親族支援等がみこまれない家庭のサービス利用につながったことで、毎年数値目標以上の利用実績があった。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.18	子育て支援施設等の職員に対する防犯研修	所管課	こども施策課・幼保施設管理課・学校地域連携推進課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	5.多様なニーズに応じた保育・子育て支援サービスの充実
事業内容	子育て支援施設等に勤務する職員等に対し防犯・安全対策についての研修を行い、緊急時に子どもを守るための知識や行動について指導します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①研修回数	6回	3回	50.0%	6回	7回	116.7%	6回	2回	33.3%	6回	5回	83.3%	6回	1回	16.7%
総合評価	50.0%			116.7%			33.3%			83.3%			16.7%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		千円	千円		千円	千円		千円	千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	----	----	--	----	----	--	----	----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	昨年度同様、危機管理や衛生管理等について研修を実施した。
成果・課題	今まで行った防犯研修を基に、各施設において不審者の侵入等の不測の事態に関する防止措置、対応の具体的な内容や手順等を職員間で確認する取り組みを行っている。
今後の取組内容	引き続き防犯研修を適宜行い、保育施設のニーズに合わせて。回数や実施方法を検討していく。

計画期間5年間の 総括	研修の方法については、オンラインや集合研修を取り入れ、幅広く職員に危機管理の意識を高める取り組みをしている。防犯については、適宜研修を行ったり、各施設ごとの訓練や研修を行った。令和4年度に行った研修では、子供を守るための防犯対策を学ぶことを目的とし、子供たちの命を守るために何をすべきか、どんな準備をすべきかを新たな視点から見直し、振り返ることで、更なる学びに繋がった。各園日頃より不審者訓練や不明時訓練を行い、安全対策を講じているが、この研修からもう一步踏み込んだ対策と職員間の共通の認識が必要であることを実感し、取り組みに生かしていく。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.19	地域子育て支援センター事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	保育園等のノウハウと機能を活用した地域子育て支援センターを設置して、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の推進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供、各種子育て教室等の開催および子育てサークルの支援を行います。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①施設数	11ヵ所	11ヵ所	100.0%	11ヵ所	11ヵ所	100.0%	11ヵ所	11ヵ所	100.0%	11ヵ所	11ヵ所	100.0%	11ヵ所	11ヵ所	100.0%
②利用者数(延)	97,868人	27,815人	28.4%	98,853人	28,924人	29.3%	99,061人	46,099人	46.5%	101,234人	60,912人	60.2%	103,502人	58,286人	56.3%
総合評価	64.2%			64.6%			73.3%			80.1%			78.2%		

事業費(予算/決算)	94,091千円	94,091千円	91,465千円	91,465千円	96,496千円	95,863千円	95,982千円	95,982千円	98,950千円	98,950千円
------------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	産婦人科・小児科へのチラシ配布やプレ親学級でのPRのほか、市ホームページ・いちかわっこWEB等で周知活動をした。
成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響で閉所や予約制を実施していた令和2～4年度と比較すると、利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の利用者数の水準には達していない(平成29年度:97,432人、平成30年度:90,564人、平成31年度:77,321人)。
今後の取組内容	妊婦及びその家族への認知度向上を図るために、プレ親学級でのPR等の事業周知の取り組みを継続する。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルスの影響により、地域子育て支援センターの利用自体の制限等により、計画当初は利用者数自体が伸び悩んだ。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.20	親子つどいの広場事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	子育て中の親子が気軽に集える場として、親子つどいの広場を設置し、子育て中の親子の交流の場の提供と交流の促進、相談・援助、地域の子育て関連情報の提供および地域の支援者への講習を行います。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①施設数	3ヵ所	3ヵ所	100.0%	3ヵ所	3ヵ所	100.0%	3ヵ所	3ヵ所	100.0%	3ヵ所	3ヵ所	100.0%	3ヵ所	4ヵ所	133.3%
②利用者数(延)	45,000人	9,228人	20.5%	45,000人	18,058人	40.1%	45,000人	23,420人	52.0%	45,000人	33,280人	74.0%	45,000人	37,592人	83.5%
総合評価	60.3%			70.1%			76.0%			87.0%			108.4%		

事業費(予算/決算)	17,286千円	16,896千円		17,052千円	17,052千円		17,365千円	17,338千円		18,102千円	17,802千円		25,565千円	23,398千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	市広報紙、ホームページ等での周知を継続し、会場の近隣地域への活動周知を行った。
成果・課題	既存の広場の運営に加え、八幡親子つどいの広場を八幡市民交流館「ニコット」に移設したほか、妙典こども地域交流館「COCO」において新たに妙典親子つどいの広場を開設したことにより、利用者増が図られた。
今後の取組内容	令和7年4月から新たに行徳支所内において、末広こども館を改修した「末広親子つどいの広場」も加わることから、引き続き事業の周知に努めていく。

計画期間5年間の 総括	コロナ禍以後、利用者数も順調に回復してきているが平成30年以前の水準には達していない。就学前人口の減や両親の早期復職により保育施設等利用の増加が一因と考えられるが、引き続き子育て世帯の情報提供・相談・交流の場として、事業を推進していく。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.21	こども館運営事業(小学校就学前まで)	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	児童福祉法にもとづく児童館とそれに準ずる施設を設置し、遊びの提供を行う乳幼児親子の居場所とするとともに、育児不安解消のための相談・情報提供を行います。また、親子の関係づくり・仲間づくりのための親子活動、父親の育児参加促進のための父親支援、親育ち・親の子育て力向上のための各種講演会等を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	107,000人	48,696人	45.5%	112,250人	96,700人	86.1%	112,500人	122,154人	108.6%	112,750人	109,873人	97.4%	113,000人	163,664人	144.80%
②施設数	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100.0%	14ヵ所	14ヵ所	100%
③行事・イベント	4,220回	795回	18.8%	4,300回	2,366回	55.0%	4,300回	3,001回	69.8%	4,300回	3,056回	71.1%	4,300回	3,166回	73.60%
総合評価	54.8%			80.4%			92.8%			89.5%			106.1%		

事業費(予算/決算)	130千円	130千円		1,170千円	1,166千円		1,244千円	1,239千円		1,181千円	1,179千円		1,285千円	1,284千円	
------------	-------	-------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	中央こども館の「あつまれ赤ちゃん」では発達支援課の理学療法士の相談機会を年3回に増やした。 「こども館再整備計画」に基づき令和7年1月末に末広こども館、2月末に本行徳こども館を閉館し、近隣施設を利用出来る様周知した。
成果・課題	中央こども館の「あつまれ赤ちゃん」では理学療法士がグループに入り、相談しやすい雰囲気づくりをしたことにより運動機能の相談が増え育児不安の解消に繋がった。 年度末に末広こども館、本行徳こども館の2館が閉館。事前に周知した事により、近隣施設びあばーくや相之川こども館まで足を運ぶ親子が徐々に増えてきた。 地域によってあつまれ赤ちゃんや乳幼児向けの講師謝礼事業の参加にばらつきがある為周知方法や申し込みの仕方を工夫する。また遊びの内容がマンネリ化しないよう工夫が必要。
今後の取組内容	イベントの申込方法は、全館で市公式Webサイトのイベントポータルサイトから申し込めるようにする。 あつまれ赤ちゃん、1、2の3ではよーの内容を工夫し親子が楽しめる内容に更新する。

計画期間5年間の 総括	コロナの影響で定員や対象年齢に制限があったが、その都度工夫し取り組んでいった。令和5年度、6年度には本来のこども館利用者数に戻ってきた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.22	ファミリー・サポート・センター事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	育児の支援をしたい会員、育児の支援を受けたい会員、両方を利用したい会員を組織化し、子育てに関する人と人との相互援助活動として、保育園・幼稚園・放課後保育クラブへの送迎・送迎後の預かり等のサポートを行います。引き続き、協力・両方会員の確保を図っていきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	19,809人	10,251人	51.7%	19,855人	12,916人	65.1%	19,927人	14,118人	70.8%	20,025人	15,637人	78.1%	20,198人	14,734人	72.9%
総合評価	51.7%			65.1%			70.8%			78.1%			72.9%		

事業費(予算/決算)	25,271千円	25,268千円		27,834千円	27,391千円		30,986千円	27,650千円		28,290千円	28,289千円		28,918千円	28,917千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	協力会員の確保について市広報紙・ホームページを活用し、周知活動を行った。随時、会員同士の声かけも行った。
成果・課題	依頼会員は増傾向であるものの、協力会員はほぼ横ばいで推移している。引き続き協力会員の確保が課題となる。
今後の取組内容	市広報紙・ホームページを活用した協力会員募集の周知活動を継続する。 加えて協力会員の確保に向け、周知方法を検討していく。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染症の影響をうけながらも、その年に合わせた支援の継続を行うことができた。利用者数もコロナ禍では減少傾向が続いていたが、令和3年以降は利用者数も増傾向となっている。引き続き多様化するニーズに対応できるよう、協力会員の確保に向け周知を行っていく。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.23	産後家庭ホームヘルプサービス	所管課	こども家庭相談課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	核家族で保護者の親族や近隣からの支援が十分に得られない家庭にあつて、特に保護者が産後で一時的に家事、育児ができないとき、ヘルパーを派遣して、支援していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①登録者数(延)	230人	194人	84.3%	230人	242人	105.2%	230人	222人	96.5%	230人	233人	101.3%	230人	326人	141.7%
総合評価	84.3%			105.2%			96.5%			101.3%			141.7%		

事業費(予算/決算)	1,698千円	1,298千円		4,433千円	4,433千円		3,714千円	3,714千円		6,530千円	4,575千円		8,974千円	7,318千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	市内全域をカバーできる事業者に委託することで、より多くのニーズに対応することができた。 支援内容を「家事育児支援」と「専門的育児支援」に分類することで、支援内容の充実を図った。
成果・課題	「専門的育児支援」として、家事育児支援に加え沐浴指導や沐浴を実施することができた。 受託事業者と利用予定家庭に関する情報の共有を行う仕組みづくりが必要である。
今後の取組内容	育児負担の軽減と安定した育児環境につなげることができるよう、利用期間および利用枠の拡大を検討していく。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染症感染拡大の間は、受託事業者数の減少に加え利用者数の減少もみられたが、受託先の拡大及びサービスの充実を図ることで、利用登録者は増加につながった。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.24	すこやか応援隊事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	すこやかな親子の育ちを目的として、市内のさまざまな地域に出向き、訪問・相談・情報提供などの活動を実施し、一人ひとりに合った支援をコーディネートしていく中で、地域に根ざした子育て支援を進めていきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用件数(延)	2,800人	0人	0.0%	2,800人	0人	0.0%	2,800人	141人	5.0%	2,800人	198人	7.1%	2,800人	201人	7.20%
総合評価	0.0%			0.0%			5.0%			7.1%			7.2%		

事業費(予算/決算)	50千円	0千円		50千円	50千円		21千円	21千円		30千円	30千円		30千円	30千円	
------------	------	-----	--	------	------	--	------	------	--	------	------	--	------	------	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	大野地区出張こども館について、施設近隣の小児科・スーパーに掲示を依頼し、周知範囲を広げた。また、公式「SNS」で、周知を行った。対象年齢の幅を広げ、0歳児が参加しやすいよう、0歳児のみ、または0～2歳で実施する月を設け、交互に実施した。
成果・課題	毎月、0歳児の参加を可にしたことで、0歳児のみの月と、0～2歳で実施する月の両方に参加する乳児親子も出てきて、目的別に楽しむことができた。0歳児にとって参加しやすくなった。ベビーマッサージは本光寺での開催は、お寺の中で参加しにくい場所だと感じたのか人数が集まらなかった。
今後の取組内容	末広こども館・本行徳こども館が令和6年度閉館となったことから、本行徳公民館や、子育て支援施設の少ない菅野公民館などへの出張も新たに検討していく。

計画期間5年間の 総括	コロナウイルス感染症が流行している中、子育て支援課からこども館が担当することになった。子育て支援施設の少ない地域に、出張していくことも、はじめは手探りで実施していたが、年々定着してきており、何度も利用してくれる方が増えている。また、講師事業としてベビーマッサージを菅野や、行徳方面でも単発で実施したが、好評であった。開催場所や回数を見直しながら、出張こども館として地域に職員が出向き、遊びの提供や子育て相談に応じていく必要がある。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.25	子育てサークル育成事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	子育てにかかわるサークル活動を行っている団体について、登録制によって活動を支援するとともに、ホームページ等により広く情報を公開することで市民活動の活性化を図ります。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①登録サークル	45団体	20団体	44.4%	45団体	20団体	44.4%	45団体	17団体	37.8%	45団体	16団体	35.6%	45団体	17団体	37.78%
	44.4%			44.4%			37.8%			35.6%			37.8%		

事業費(予算/決算)	10千円	0円		10千円	10千円		10千円	10千円		1千円	1千円		1千円	1千円	
------------	------	----	--	------	------	--	------	------	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	昨年度とは別の3サークルの活動状況を巡視した。代表者の対面で話し、活動状況や課題点等を確認した。
成果・課題	サークル支援として求められる内容や課題を把握する為、今後も全てのサークルを巡視し支援の効果や課題等を確認していく。
今後の取組内容	サークル数が減少傾向にあるため、周知を進めることや、立ち上げ支援も実施していく。

計画期間5年間の 総括	在宅で子育てをする親子への支援が主だったが、この5か年で多くの親子が保育園等子育て支援施設に入園する状況となった。その為、以前は活動対象が0～3歳くらいまでが中心だったが、次第に0～1歳が対象が主になり、サークルの数が減ったり会員の数が減っている状況がある。こどもの数は減っても、子育てサークルにおける保護者同士の助け合いや、在宅親子の居場所作りとして支援をしていく必要がある。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.26	いちかわ子育て支援ボランティア養成事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	地域で子育て支援を行いたいボランティアを養成するため、「子育て支援ボランティア養成講習会」を開催するとともに、修了後の活動をコーディネートすることによって、地域の子育て力の向上を図っていきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	実績
①受講者数(実)	30人	0人	0.0%	30人	0人	0.0%	30人	14人	46.7%	30人	13人	43.3%	30人	29人	97%
②講習会の開催	2回	0回	0.0%	2回	0回	0.0%	2回	1回	50.0%	2回	1回	50.0%	2回	2回	100%
総合評価	0.0%			0.0%			48.3%			46.7%			98.4%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		5千円	5千円		3千円	3千円		3千円	3千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	受講内容について、「子育て支援ボランティアとは」について説明する時間を設け、理解に繋がられた。 フォローアップ研修をこども館として初めて開催した。
成果・課題	養成習会では、今後も参加者のニーズを把握しながら開催日時等検討していく必要がある。 フォローアップ研修を開催し、子育て支援課時代から登録されていたボランティアと初めて対面できた方も多かった。
今後の取組内容	幅広い年齢の方や仕事をしている方でも活動していただけるよう平日に限らず、週末に開催したり、2日間の参加ではなく、内容の簡素化についても検討していきたい。 今後はより視野を広げ、公立保育園以外の私立保育園での受け入れができるよう検討していく。

計画期間5年間の 総括	コロナウイルス感染症が流行している中、子育て支援課の事業をこども館が担当することになった。 活動がしばらく実施できず、また登録を継続されているボランティアと対面することもできず、思うようには進まなかったが、コロナ禍が過ぎ、少しずつこども館としての事業を広げていくことができている。 子育て支援施設とも交流ができるようになり、今後もボランティアと上手くコミュニケーションを取りながら仲介して、市川市の子育て支援の力となるようすすめていきたい。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.27	青少年と乳幼児親子のふれあい交流事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	こども館における健全育成活動の一環として、児童生徒が乳幼児親子とのふれあい・育児体験をすることにより、命の大切さ・親子の絆を学ぶ活動を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①実施回数	40回	0回	0.0%	40回	1回	2.5%	40回	14回	35.0%	40回	13回	32.5%	40回	8回	20%
②参加者数 (小学生)(延)	10人	0人	0.0%	10人	0人	0.0%	10人	0人	0.0%	10人	0人	0.0%	10人	0人	0.00%
③参加者数 (中・高校生)(延)	650人	0人	0.0%	650人	74人	11.4%	650人	65人	10.0%	650人	116人	17.8%	650人	98人	15%
④参加者数 (乳幼児親子)(延)	850人	0人	0.0%	850人	38人	4.5%	850人	137人	16.1%	850人	132人	15.5%	850人	147人	17.30%
総合評価	0.0%			4.6%			15.3%			16.5%			13.1%		

事業費(予算/決算)	53千円	0千円		48千円	24千円		11千円	5千円		11千円	5千円		11千円	5千円	
------------	------	-----	--	------	------	--	------	-----	--	------	-----	--	------	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	実施高校「市川南高校」「国分高校」の2校ともに生徒主体の事業進行形式にて実施することができた。
成果・課題	実施高校の対象生徒は、保育コースや家庭科選択をしており、事業に積極的に取り組んでいる様子から、参加親子の満足度も高い。特に市川こども館内での事業実施となるふれあい交流は、参加親子の負担や緊張が少なく参加できる形式となっている。
今後の取組内容	今後も生徒主体の事業の進め方を継続事業として進めていきたい。

計画期間5年間の 総括	コロナ禍など社会状況により今までのような形式では事業展開できない時期もあったが、高校との調整のもと、より充実した形式で継続した事業となっている。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.28	保育園での子育て支援(地域交流)	所管課	幼保施設管理課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	保育園の地域交流として、保育園に通園していない未就学児童等を含め、園庭開放、親子のふれあい遊びの支援等を行い、保育園と地域および地域住民同士の交流を図ります。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①参加者(延)	12,478人	2,017人	16.2%	12,478人	1,513人	12.1%	12,478人	1,846人	14.8%	12,478人	2,732人	21.9%	12,478人	3,460人	27.7%
②地域交流の実施	755回	199回	26.4%	755回	338回	44.8%	755回	429回	56.8%	755回	406回	53.8%	755回	506回	67.0%
③実施施設	61ヵ所	54ヵ所	88.5%	61ヵ所	69ヵ所	113.1%	61ヵ所	85ヵ所	139.3%	61ヵ所	89ヵ所	145.9%	61ヵ所	90ヵ所	147.5%
総合評価	43.7%			56.7%			70.3%			73.9%			80.8%		

事業費(予算/決算)	17,500千円	4,406千円		17,500千円	6,537千円		17,500千円	8,040千円		1,977千円	2,168千円		904千円	859千円	
------------	----------	---------	--	----------	---------	--	----------	---------	--	---------	---------	--	-------	-------	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	公園や公民館等にポスターにて掲示を行い、多くの子育て世帯に市川市の子育て支援事業の周知ができた。また、公立保育園では地域にねざした施設として、受け入れ幅の拡大を図り、利用者に合わせた多様な支援を行うことができた。また、楽しく過ごしていただくことに加え、各利用者にあったマイ保育園登録事業や一時預かり保育、子ども誰でも通園制度の情報提供を積極的に行ない、支援に繋げた。
成果・課題	周知の幅を広げたことで集客に結び付いた。悪天候、感染症流行等、交流が制限されることが多いが、創意工夫をしながら、継続して地域の子育て支援の充実を図っていく必要がある。また、利用者の支援の窓口として、利用者に応じてマイ保育園登録事業や一時預かり保育、子ども誰でも通園制度支援等の事業の情報提供を行い、広く深く支援を行っていかるとよい。
今後の取組内容	引き続きポスター等の掲示等による周知を行う。各施設ごとに利用者ニーズを図りながら、各園ならではの地域交流を展開し、充実を図っていく。

計画期間5年間の 総括	数年、新型コロナウイルス感染拡大防止のため園内での交流は難しかったが、園舎外まわりにポスターを掲示したり、園だより等を配布したりして地域交流保育事業に取り組んだ。3年目には徐々に交流が再開されたが孤立していた子育て家庭も少なくなく、悩みを抱える姿も多く、保育士・看護師・栄養士、専門性を活かし個別相談などを取り入れていくことで、子育ての楽しさに気づき、悩みの軽減等の支援につながった。ここ2年は、しっかりと交流が再開できたものの温暖化による地球環境の変化から交流が制限されることが多い現状であり、引き続き交流内容の工夫が必要となっている。また、子育て世帯のニーズや抱える問題はさらに多様となり、地域交流から他の支援事業に繋げる役割も果たすようになってきている。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.29	幼稚園での子育て支援(園庭開放)	所管課	幼保施設管理課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	幼稚園の地域交流として、幼稚園に通園していない未就学児童を対象に、園庭を解放し、親子で遊んだり、育児について親同士が話し合える場とします。また、育児についての不安や悩みを受け止め、子育て支援の場とします。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①園庭開放の実施数	473回	225回	47.6%	473回	138回	29.2%	473回	524回	110.8%	473回	557回	117.8%	473回	577回	122.0%
②園庭開放の実施設	6カ所	6カ所	100.0%	6カ所	6カ所	100.0%	6カ所	6カ所	100.0%	6カ所	6カ所	100.0%	6カ所	6カ所	100.0%
総合評価	73.8%			64.6%			105.4%			108.9%			111.0%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	幼稚園開放、未就園児親子・子育て支援状況と予定について、ホームページや子育て遊び場等にて周知し、多くの親子の参加を募り交流の場として開放した。
成果・課題	感染症対策の徹底を図りながら、公立幼稚園6園において園庭を開放を実施した。 今後も、感染症情報等を注視し開放方法を工夫しながら、地域の子育てネットワークづくりの場を提供したい。
今後の取組内容	地域の実態や保護者の要望に応じて創意工夫し、子育ての支援活動を進めて行く。

計画期間5年間の 総括	感染症により、一時は交流の場が少なくなったが、感染症対策の徹底を図りながら園庭開放を行い、多くの親子の参加を募ることができた。 今後も活動を行い、子育て支援の場としていく。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.30	中高年ボランティア事業(保育園)	所管課	幼保施設管理課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	社会を担ってきた中高年を保育ボランティアとして受け入れ、ふれあい遊びや絵本の読み聞かせ、草木の世話等を通じて、保育園児との世代間交流を図ります。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①ボランティア登録者数	59人	0人	0.0%	59人	11人	18.6%	59人	24人	40.7%	59人	34人	57.6%	59人	23人	39.0%
②活動件数	1,531回	0回	0.0%	1,531回	201回	13.1%	1,531回	301回	19.7%	1,531回	251回	16.4%	1,531回	352回	23.0%
③実施施設	23ヵ所	0ヵ所	0.0%	23ヵ所	5ヵ所	21.7%	23ヵ所	9ヵ所	39.1%	23ヵ所	18ヵ所	78.3%	23ヵ所	10ヵ所	43.5%
総合評価	0.0%			17.8%			33.2%			50.8%			35.2%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取組み	無理のない範囲で、読み聞かせや一緒に遊ぶなど様々な取組みを展開し、園内外での交流をしている。
成果・課題	中高年ボランティアの取組みが定着し、保育園内の自然な交流となり、良いふれあいの場となっている。 地域によって、登録のない園や実施回数が少ない園がある。引き続き、適宜活動内容の見直しを行い、良い支援に繋げていく。
今後の取組内容	こども、中高年ボランティア、双方にとって無理のない形で継続していく。

計画期間5年間の 総括	感染症流行の時は、実績が0と落ち込んだが、徐々に登録人数が増えた。ボランティアの内容としては、読み聞かせや保育に入ってから交流が主ではあるが、特技を活かした科学実験や楽器演奏などもあり、中高年の活躍の場となっている。子どもたちにとっても地域の大人との関わりを楽しみ、良いふれあいの場となっている。現在、募集は行っていないが、各園地域のボランティア希望者の受け入れを継続している。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.31	マイ保育園登録制度事業	所管課	幼保施設管理課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	地域で継続した子育て支援を実施し、産前産後うつや育児不安などを解消していくため、身近な保育園に登録して、妊婦時代には子育て体験、産後は育児相談や地域との交流などの支援を保育園で実施していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①登録者数	237人	136人	57.4%	237人	87人	36.7%	237人	120人	50.6%	237人	168人	70.9%	237人	142人	59.90%
②実施施設	23ヵ所	23ヵ所	100.0%	23ヵ所	23ヵ所	100.0%	23ヵ所	23ヵ所	100.0%	23ヵ所	22ヵ所	95.7%	23ヵ所	21ヵ所	91.30%
総合評価	78.7%			68.4%			75.3%			83.3%			75.6%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の周知拡大のために、秋季に市内のこども館に協力依頼を行い、新ポスターを掲示してもらったところ、掲示を見て親子が訪れた園が数園あった。</li> </ul>
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各園が、利用者のニーズに応じて臨機応変に様々な方法(保育園体験、季節行事へのお誘い、クラス吸収の保育園体験等)を取り入れ、気軽に来園できる雰囲気意識して実施したことで、継続利用に繋がっている。</li> <li>・コロナ後初めて、プレママの参加があった。(3園) 育児体験の実施後、電話相談に繋がった園もある。</li> <li>・公立園では、0歳児の受け入れを行っておらず、実際に乳児が遊ぶ姿や食事の様子を見ることができないため、様々な方法を工夫して支援を行っていくことが求められる。</li> </ul>
今後の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用されていない園や実施回数が少ない園が見られるため、地域交流のポスターを掲示する施設に本事業のポスターも掲示し育児支援に繋げていく。</li> <li>・在園児保護者にも本事業のPRを行い、育児に悩んでいる知人がいたら案内してもらい、保育園が子育て支援の拠点となるようにしていく。</li> <li>・今年度、プレママの参加のあった園からの周知方法等の情報を各園で共有し、プレママの支援に繋げていく。</li> </ul>

計画期間5年間の 総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの流行で減少していた登録者数が、令和4年度から徐々に増加、今後も増加傾向と思われたが、6年度は民営化のため実施施設数が減ったことに加え、半数以上の園で昨年度より登録者が減少したため、達成率が10%減少となった。一時保育、こども誰でも通園制度の各事業を実施している園においては、利用者の中に本事業の支援を必要としている保護者がいると感じられた場合には、積極的に声をかけニーズに応じた対応を勧めていくようにし、それ以外の園でも、市民への周知の仕方、ニーズに応じた各園の特色を生かした企画を工夫し、登録者数の増加に繋がると良い。</li> </ul>
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.32	青空こども広場事業	所管課	公園緑地課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	6.地域の子育て力向上のための支援の充実
事業内容	就学前のこどもが伸び伸びと遊べる「青空こども広場」を公園の少ない地域等に設置する。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①施設数	4ヵ所	0ヵ所	0.0%	4ヵ所	4ヵ所	100.0%	4ヵ所	4ヵ所	100.0%	4ヵ所	3ヵ所	75.0%	4ヵ所	3ヵ所	0.75
総合評価	0.0%			100.0%			100.0%			75.0%			75.0%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円											千円	千円	
------------	-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	引き続き、青空こども広場の必要性について、こども部と協議をすすめていく。
成果・課題	用地の確保が困難な状況にある。
今後の取組内容	都市公園との違いを明確化し、恒久的な用地の確保を検討する。

計画期間5年間の 総括	用地の確保が困難な状況にあるため、青空こども広場の必要性について協議・検討した。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.33	子ども家庭支援センター事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、保健・福祉・教育等に関する基本的な問い合わせやサービスの紹介に応じるとともに、手続きや相談が必要な場合には、関係機関と連携して適切な支援を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①問合せ・相談件数(延)	6,500件	9,310件	143.2%	6,500件	14,423件	221.9%	6,500件	15,109件	232.4%	6,500件	17,684件	272.1%	6,500件	15,693件	241.4%
総合評価	143.2%			221.9%			232.4%			272.1%			241.4%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	令和6年度より「こども家庭センター」を設置し、母子保健機能と児童福祉機能との連携体制を強化し、妊娠・出産から18歳までを対象とした相談に対応した。
成果・課題	こども家庭センターとして周知を強化するとともに、相談内容に応じたサービスが紹介できるよう、今後も情報収集と情報共有が必要である。
今後の取組内容	母子保健と児童福祉の機能を生かした定期的な情報共有の会議を開催するとともに、関係機関との調整をつじ適切に支援していく。

計画期間5年間の 総括	子どもと子育て家庭に関する総合相談窓口として、問い合わせやサービスの紹介に応じるとともに、手続きや相談が必要な場合には、関係機関と連携して適切な支援を実施した。 令和6年度よりこども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の連携体制を強化し、相談に対応することができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.34	子育てガイドブック	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	本市における子ども・子育てに関する保健・福祉・教育・医療などの情報を網羅した情報誌を隔年で発行し、子育てにかかる行政の総合的な情報をわかりやすく提供します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①発行部数	20,000冊	0冊	0.0%	-	-	-	20,000冊	4,349冊	21.7%	-	-	-	20,000冊	-	-
総合評価	0.0%						21.7%						0.0%		

事業費(予算/決算)	62千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	------	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	令和4年4月より電子版(PDF形式)の発行に切替え、市公式Webページにて掲載を行った。
成果・課題	スマートフォンやタブレットでの閲覧がしやすいよう電子版での発行を行い、2,841pvの閲覧があった。
今後の取組内容	これまで内容の更新は2年に一度としていたところだが、電子版としたことから毎年更新するものとして発行し情報の新鮮度を保つよう努めていく。

計画期間5年間の 総括	子育てに関する情報発信について、いちかわっこWEBと合わせて適切な情報発信方法を検討していく。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.35	子育て応援サイト事業	所管課	こども施策課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	子育て応援サイト「いちかわっこWEB」により、行政情報のみならず、NPOやサークル等によって実施されているさまざまな子育て支援に関する民間情報を提供します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①アクセス数(月平均)	12,000件	7,449件	62.1%	12,250件	7,733件	63.1%	12,500件	7,222件	57.8%	12,750件	5,766件	45.2%	13,000件	6,121件	47.0%
総合評価	62.1%			63.1%			57.8%			45.2%			47.0%		

事業費(予算/決算)	1,067千円	1,120千円		1,067千円	1,067千円		1,067千円	1,067千円		1,067千円	1,067千円		1,067千円	1,067千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	各種媒体(いちかわあそびばまっぷ、各種チラシ等へのリンクの掲載)での周知を行った。
成果・課題	前年に比べアクセス数は増加したものの、依然として目標値から低い状況が続いている。また、登録団体のうち一部情報発信を行っていない団体が増えてきている。
今後の取組内容	各団体の情報発信の手法や本ページの訴求力等を検討し、今度の子育て応援サイトのあり方について検討を進めていく。

計画期間5年間の 総括	子育て情報の発信について、民間団体含めた各種広報媒体の多様化やSNS等の発展等によりその情報発信のあり方は変化してきているものと認識している。子育てガイドブック等と合わせ市としての情報発信のあり方を検討していく。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.36	利用者支援事業	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	7.子育て相談・情報提供の充実
事業内容	幼稚園、保育園等の子育て関係機関と連絡調整や情報収集を行い、幼稚園、保育園等の紹介や申請方法等をご案内するとともに、就学前の子どもの所属先についての情報を幅広く提供していきます。また、「出張子育てナビ」として地域に出向き、利用者支援のサービスを展開します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①実施箇所数	2ヵ所	2ヵ所	100.0%	2ヵ所	2ヵ所	100.0%	2ヵ所	2ヵ所	100.0%	2ヵ所	2ヵ所	100.0%	2ヵ所	2ヵ所	100.0%
②子育てナビ利用者数(延)	9,000人	9,242人	102.7%	9,000人	10,695人	118.8%	9,000人	9,396人	104.4%	9,000人	11,309人	125.7%	9,000人	10,862人	120.7%
③出張子育てナビ利用者数(延)	600人	0人	0.0%	600人	0人	0.0%	600人	0人	0.0%	600人	0人	0.0%	600人	41人	6.8%
総合評価	67.6%			72.9%			68.1%			75.2%			75.8%		

事業費(予算/決算)	5,911千円	5,783千円		8,604千円	8,245千円		9,636千円	8,894千円		11,061千円	9,104千円		11,108千円	11,697千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	----------	---------	--	----------	----------	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	就学前の入園先を支援する中で、包括的に相談を受け止め相談者の課題を整理し、情報提供を行う。解決が難しい事例に対しては、各種関係機関との連携を図る。コロナにより休止していた出張子育てナビを再開した。
成果・課題	窓口で個別に利用者支援をしていくことで利用者の満足度を維持し、加えて出張子育てナビの実施により、利用者のニーズに合わせた子育て支援につながった。地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する。対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制を整備する。
今後の取組内容	相談者の課題や不安に寄り添い、より実情に即した案内につなげるべく、施設への訪問や出張子育てナビなど、積極的な現地視察や情報収集、連携強化を図ることで、利用者の更なるニーズに応えていく。

計画期間5年間の 総括	制度の新設や変更、保育施設数の大幅な増加など、利用者の選択肢が増えたことにより情報提供の必要性、重要性が増した。コロナ禍を経て出張子育てナビや幼稚園訪問を再開しており、今後も積極的な情報収集や関係機関との連携を図っていく。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.37	児童手当	所管課	子育て給付課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校修了前の児童を養育している保護者に手当を支給します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給児童数(延)	700,000人	685,800人	98.0%	700,000人	676,258人	96.6%	700,000人	628,341人	89.8%	700,000人	593,268人	84.8%	700,000人	641,639人	91.7%
総合評価	98.0%			96.6%			89.8%			84.8%			91.7%		

事業費(予算/決算)	7,093,060千円	7,010,355千円		6,960,640千円	6,870,995千円		6,796,424千円	6,550,080千円		6,519,172千円	6,254,125千円		7,600,665千円	7,231,890千円	
------------	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	誤りのない適正な支給を行うとともに、手当の手続き時に各種届出の必要性を丁寧に説明することにより、手続き未済等を未然に防いだ。
成果・課題	(成果)受給者への制度説明や千葉県担当課との連携を図り、適切な支給を行うことができた。 (課題)児童手当の各種手続きはインターネットを活用することで電子申請を行うことができるため受給者の負担軽減となるが、電子申請の申請率が低い。
今後の取組内容	引き続き、児童手当の手続き時に各種届出の必要性を丁寧に説明することにより、手続き未済等を未然に防ぐ。 市の広報・市公式Webサイトの活用や、住民記録関係部署との連携を密に図ることで、児童手当制度を広く周知するようにし、手当がより多くの人に支給されるよう努める。

計画期間5年間の 総括	受給者への制度説明や千葉県担当課との連携を図り、適切な支給を行うことにより、子育て家庭の生活の安定と児童の健全な育成に寄与することができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.38	子ども医療費助成	所管課	子育て給付課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費(保険適用分)の一部を助成します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①助成対象者数(実)	59,135人	60,009人	101.5%	59,135人	59,573人	100.7%	59,135人	59,097人	99.9%	59,135人	68,189人	115.3%	59,135人	68,747人	116.3%
総合評価	101.5%			100.7%			99.9%			115.3%			116.3%		

事業費(予算/決算)	1,545,639千円	1,192,333千円		1,433,119千円	1,391,813千円		1,463,081千円	1,462,926千円		1,908,813千円	1,908,212千円		2,048,094千円	2,047,737千円	
------------	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	令和5年度に高校生まで対象年齢の拡大等の制度拡充を行い、未申請の子育て世帯に対して継続した制度の周知を行った結果、前年よりも助成対象者数が増加した。
成果・課題	(成果)制度周知を徹底し、適切に受給券の交付を行うことができた。 (課題)電子申請を行える手続きが少ないため、保護者から負担に感じるとの声がある。
今後の取組内容	引き続き、広報等で周知を行い、子育て家庭の経済的負担を軽減していく。

計画期間5年間の 総括	令和5年度に対象年齢拡大や月額上限の導入などの制度の拡充を行ったことにより、子育て家庭の更なる経済的負担の軽減に寄与した。 今後、受給資格の電子確認や受給券の電子申請等を導入するなど、保護者の更なる利便性の向上・負担軽減に努めていきたい。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.39	地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援補助金(旧幼稚園類似施設園児補助金)	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	幼稚園類似施設を利用する保護者の経済的負担軽減を図るため、所得区分に応じて補助金を交付します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給者数(実)	200人	116人	58.0%	200人	110人	55.0%	200人	19人	9.5%	200人	11人	5.5%	200人	11人	5.5%
総合評価	58.0%			55.0%			9.5%			5.5%			5.5%		

事業費(予算/決算)	2,947千円	2,947千円		16,200千円	14,740千円		9,600千円	3,880千円		7,200千円	2,460千円		3,600千円	2,540千円	
------------	---------	---------	--	----------	----------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	前年度に引き続き、保護者の経済的負担の軽減を図った。
成果・課題	補助対象施設利用者の経済的負担軽減が、保護者の求める保育サービスの利用につながった。
今後の取組内容	事業を継続し、引き続き保護者の経済的負担軽減を図っていく。

計画期間5年間の 総括	共働き世帯の増加や少子化により、対象園数及び利用者数が減少または横ばい傾向になったものと想定される。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.40	保護児童生徒援助費	所管課	義務教育課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学校教育に必要な費用の一部を援助します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①認定者数	2,700人	2,584人	95.7%	2,700人	2,577人	95.4%	2,700人	2,470人	91.5%	2,700人	2,245人	83.1%	2,700人	2,142人	79.3%
総合評価	95.7%			95.4%			91.5%			83.1%			79.3%		

事業費(予算/決算)	225,688千円	212,120千円		232,918千円	221,435千円		241,790千円	217,376千円		11,831千円	11,144千円		118,191千円	114,033千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	----------	----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	全児童・生徒の保護者へ学校を通じてお知らせ文を配布することに加えて、市公式webサイトおよび広報いしかわでの案内を実施し、保護者へ周知する。
成果・課題	小学校1,275名、中学校867名、合計2,142名の認定者に学用品費や校外活動費等の支給をした。
今後の取組内容	引き続き周知徹底を図り、保護者への支援の充実に努める。

計画期間5年間の 総括	児童生徒数が減少傾向であることから、就学援助の認定者も減少している。学校と連携し制度を必要としている方が支援を受けることができるよう、周知を図ることができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.41	特別支援教育就学奨励費	所管課	義務教育課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	特別支援学級および通級指導教室に通学している児童・生徒の保護者に対し、就学に要する費用の一部を支給します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①認定者数	330人	355人	107.6%	330人	382人	115.8%	330人	414人	125.5%	330人	417人	126.4%	330人	394人	119.4%
総合評価	107.6%			115.8%			125.5%			126.4%			119.4%		

事業費(予算/決算)	1,259千円	10,875千円		13,960千円	12,498千円		15,485千円	13,126千円		17,008千円	14,937千円		17,826千円	14,013千円	
------------	---------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	4月に対象児童・生徒の保護者へ制度に関する通知を、6月に申請書の配付を行うことで保護者への周知徹底を図り、特別支援教育就学奨励費事業の充実に努めた。
成果・課題	小学校233人、中学校161人、合計394人を支弁区分1～3に認定し、その区分に応じた費目について支給した。
今後の取組内容	引き続き周知徹底を図り、保護者への支援の充実に努める。

計画期間5年間の 総括	特別支援学級の学級数や児童生徒が増加しており、認定者数が増加している。学校と連携し制度を必要としている方が支援を受けることができるよう、周知を図ることができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.42	子育てのための施設等利用給付	所管課	こども施設入園課
基本目標		3.地域における子育て支援の充実	施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	幼児教育の無償化の対象となる幼稚園(新制度移行園を除く)、認可外保育施設、一時預かり事業、病児・病後児保育事業及びファミリー・サポート・センター事業を利用している児童の保護者の経済的な負担軽減を目的に国の定めた額を上限として給付金を交付します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給者数(実)	3,850人	4,479人	116.3%	3,571人	3,913人	109.6%	3,571人	3,388人	94.9%	3,571人	3,243人	90.8%	3,571人	2,910人	81.5%
総合評価	116.3%			109.6%			94.9%			90.8%			81.5%		

事業費(予算/決算)	1,196,037千円	1,142,825千円		1,197,158千円	1,081,124千円		982,412千円	888,270千円		820,199千円	787,605千円		711,659千円	674,332千円	
------------	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	新入園児及び進級児の保護者に対し、園を通じて制度の周知を行うことで、円滑な運用をすることができた。
成果・課題	幼児教育・保育の無償化事業を適切に運用することで、保護者の経済的な負担軽減を図ることができた。
今後の取組内容	引き続き制度を継続し、保護者の負担軽減を図っていく。

計画期間5年間の 総括	徐々に少子化傾向が強くなっていることがわかるため、当該事業を含めた総合的な子育て支援を今後も続けていく必要があると考えられる。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.43	実費徴収に係る補足給付を行う事業	所管課	こども施設入園課
基本目標	3.地域における子育て支援の充実		施策の方向	8.経済支援の充実
事業内容	新制度未移行園における、年収360万円未満相当世帯の子ども及び第3子以降(小学校第3学年終了前の子どもから数えて)の子どもに対して給食費の一部を補助します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給者数(実)	315人	198人	62.9%	274人	238人	86.9%	274人	230人	83.9%	274人	286人	104.4%	274人	211人	77%
総合評価	62.9%			86.9%			83.9%			104.4%			77.0%		

事業費(予算/決算)	1,603千円	1,363千円		3,618千円	1,563千円		3,078千円	2,002千円		1,654千円	2,762千円		2,117千円	1,926千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	市公式Webサイトや園を通じて制度の周知を行った。
成果・課題	多子世帯や低所得世帯の児童に対して給食費の一部を補助することで、新制度に移行している幼稚園との均衡を保つことができた。
今後の取組内容	引き続き、対象となる世帯からの請求漏れ等がないよう、制度周知を十分に行っていく。

計画期間5年間の 総括	本事業を通じ、多子世帯や低所得世帯における経済的負担を軽減し、新制度移行園との均衡を図ることができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和5年度>

事業名	No.44	利用者支援事業(母子保健型)	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊娠・出産・子育てに対する安心感を醸成し、児童虐待の発生予防につなげるため、妊娠期から子育て期にわたる相談支援を行う窓口を設置し、妊娠届出時の相談や子育て・健康相談に保健師等が対応する。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①母子保健相談窓口来所件数	5,500人	6,230人	113.3%	5,500人	7,729人	140.5%	5,500人	7,204人	131.0%	5,500人	6,664人	121.2%	5,500人	5,717人	103.9%
総合評価	113.3%			140.5%			131.0%			121.2%			103.9%		

事業費(予算/決算)	37,988千円	27,291千円		33,940千円	19,957千円		42,239千円	34,847千円		1,406千円	1,340千円		353千円	353千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	---------	---------	--	-------	-------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	近隣産婦人科でのチラシ配布、市公式webサイトなど様々な媒体を活用するとともに、家庭訪問時にも周知を行った。
成果・課題	妊娠届出数は減少傾向田であることから来所件数は減少したが、より個別性の高い相談への対応が求められている。
今後の取組内容	引き続き様々な媒体を活用し、周知啓発を継続するとともに、個別性の高い相談にも対応することができるよう、職員の意識付けを行っていく。

計画期間5年間の 総括	感染症対策を講じながら、情勢に応じて相談窓口を閉鎖することなく安定した支援を提供することで、一貫して母子に寄り添う支援を行うことができた。防災セット配付数を除いた相談数の推移を比べると、相談来所数は増加し目標を達成することができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.45	妊婦・乳幼児健康診査事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊婦・乳児に対して一般健康診査を医療機関に委託して実施し、異常の有無を早期に把握し適切な指導を行い、健康の保持増進を図ります。これについては、母子健康手帳発行時に受診票を配布して費用助成を行います。また、1歳6か月児・3歳児健康診査を実施し、疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、精神的・身体的発育発達、基本的生活習慣、歯科衛生など多角的な健診を行い、幼児の健全な発育・発達を促します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受診回数(妊婦一般健康診査)	14回	14回	100.0%	14回	14回	100.0%	14回	14回	100.0%	14回	14回	100.0%	14回	14回	100.0%
②受診回数(乳児一般健康診査)	2回	2回	100.0%	2回	2回	100.0%	2回	2回	100.0%	2回	2回	100.0%	2回	2回	100.0%
③実施回数(1歳6か月児健康診査)	48回	54回	112.5%	48回	48回	100.0%	48回	48回	100.0%	48回	48回	100.0%	48回	48回	100.0%
④実施回数(3歳児健康診査)	48回	54回	112.5%	48回	48回	100.0%	48回	48回	100.0%	48回	48回	100.0%	48回	48回	100.0%
総合評価	106.3%			100.0%			100.0%			100.0%			100.0%		

事業費(予算/決算)	518,303千円	491,921千円		519,902千円	503,153千円		523,294千円	485,696千円		505,263千円	464,007千円		484,956千円	467,842千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	集団歯科健診の日程変更や精密検査受診票の発行を電子申請にして市民の利便性を図った。 R6年8月より3歳児集団歯科健診にて視力屈折検査(SVS)を導入することで、視覚検査の充実を図った。
成果・課題	1歳6か月、3歳児健診ともに集団健康診査の受診率が増えた。
今後の取組内容	視力屈折検査(SVS)結果内容の把握及び精度管理に努めることで、視覚異常の早期発見ができる体制を維持していく。

計画期間5年間の 総括	すべての健康診査において、目標を達成することができた。
----------------	-----------------------------

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.46	母子訪問事業(乳児家庭全戸訪問事業)	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊娠・出産・育児に対する不安を軽減するとともに疾病の予防・健康の増進を図るため、地区担当保健師が対応します。妊娠届出書をもとに支援が必要な方や希望する方へ妊婦訪問、出生連絡票をもとに新生児および1～2か月児のいる家庭の全戸訪問、また希望者や育児相談事業、健康診査、健康教育等から支援が必要なご家庭に訪問し、個別あるいはご家庭のニーズに応じた相談・指導を行います。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(実)	4,323人	3,862人	89.3%	4,323人	3,813人	88.2%	4,323人	3,806人	88.0%	4,323人	3,700人	85.6%	4,323人	3,716人	86.0%
総合評価	89.3%			88.2%			88.0%			85.6%			86.0%		

事業費(予算/決算)	642千円	595千円		749千円	691千円		739千円	707千円		1,427千円	1,390千円		793千円	774千円	
------------	-------	-------	--	-------	-------	--	-------	-------	--	---------	---------	--	-------	-------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	里帰り先に他市依頼を実施するなど、対象者にタイムリーに支援を実施することで、育児不安の軽減に努めることができた。また訪問をつうじ今後の母子保健事業を周知する場にもなった。
成果・課題	出生数の減少もあり訪問数は数値目標より下回り横ばいとなっているが、子育て応援給付金の案内を母子訪問時に実施する体制になったことで、タイムリーに支援を行うことができた。里帰りをされている方に対しては、出生連絡票をもとに電話連絡をし、対象者の状況把握に努めた。
今後の取組内容	今後も訪問にて支援が必要な対象者を把握し、タイムリーに支援することで、育児不安の軽減に努める。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染症感染拡大の間も、訪問内容や実施方法を工夫しながら家庭訪問を継続することで、養育者の支援・育児不安の軽減に努めることができた。支援が必要な家庭の把握や保健師の継続的な関わりにつながるだけでなく、その他の母子保健事業にもつながる機会となっている。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.47	保健推進員活動事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	保健推進員が対象者への個別訪問を行い、市民と行政のパイプ役として保健事業のPR、健康相談窓口の案内、市民の健康の保持・増進が図られるよう支援活動を推進します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①保健推進員	150人	102人	68.0%	150人	102人	68.0%	150人	73人	48.7%	150人	73人	48.7%	150人	60人	40.0%
②訪問対象件数	4,323人	934人	21.6%	4,323人	1,143人	26.4%	4,323人	1,290人	29.8%	4,323人	2,074人	48.0%	4,323人	2,030人	47.0%
総合評価	44.8%			47.2%			39.3%			48.3%			43.5%		

事業費(予算/決算)	6,362千円	5,321千円		5,712千円	5,219千円		4,601千円	4,327千円		2,550千円	2,294千円		2,533千円	1,975千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市に保健推進員の状況を調査し、活動内容を検討した。R6年度に5人の新規委嘱者を確保することができた。</li> <li>・地区活動情報共有シートや毎月の連絡会を通して情報共有を行うほか、幼児健診にも引き続き執務していただいた。</li> </ul>
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一子の3か月児および転入乳児のいる家庭に、各種事業や相談窓口、地域情報、健康診査の案内等を行った。</li> <li>・保健推進員数が減少しており、保健推進員の担い手がいない地区が増加している。</li> </ul>
今後の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健推進員の担い手が減少しているため、引き続き人員確保に努める。</li> </ul>

計画期間5年間の 総括	<p>新型コロナウイルス蔓延により、対面での訪問することを控えた時期もあったが、令和5年度以降は対面での訪問活動を再開することができた。保健推進員の担い手が年々減少しており、担い手の確保が課題である。引き続き保健推進員の確保に向けて活動していく。</p>
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.48	プレ親学級	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	初めて出産を経験する家庭が安心して出産を迎えられるように、妊娠中の過ごし方・栄養・出産・育児についての講義や沐浴実習等を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①プレ親学級参加者数(妻・夫)(延)2カ所 所で実施	2,788人	837人	30.0%	2,788人	1,866人	66.9%	2,788人	23人	0.8%	2,788人	322人	11.5%	2,788人	626人	22.5%
総合評価	30.0%			66.9%			0.8%			11.5%			22.5%		

事業費(予算/決算)	1,814千円	1,350千円		1,801千円	1,330千円		1,359千円	1,227千円		1,218千円	1,129千円		1,056千円	1,032千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	こども家庭相談課(市川市保健センター)、南行徳こども家庭センターの2箇所にて年12回開催することができた。
成果・課題	参加希望者が多いため、定員を増やし開催したが、アンケートにも増枠を希望する声が集まり、増枠に伴う体制の確保・内容の検討が必要である。 終了後アンケートで沐浴体験を希望する回答が多いため、市公式YouTubeにおける動画配信を継続して実施することで、妊婦だけでなく家族も出産・育児に関する理解を深めることができた。
今後の取組内容	こども家庭相談課(市川市保健センター)、南行徳こども家庭センターの2箇所ですべて毎月開催することで、受け入れ枠を増加するとともに、動画配信を継続し、妊婦とその家族の出産や育児のイメージを持たせるとともに考える機会を提供する。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染拡大の時期に動画配信を開始することで、出産・育児に関する理解を深めることができた。 対面による講義・演習を再開後、予約枠は常に満員で、アンケート結果からも満足度が高い状況を維持していることから市民ニーズの高い事業であることが伺える。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.49	4か月赤ちゃん講座	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	疾病の早期発見・健康保持を図るための支援として、集団で発育、発達、基本的な生活習慣および離乳食の進め方等の講義、計測、個別相談を実施します。また、保護者の育児に関する孤立化の防止を支援します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①参加組数(実)	3,000組	587組	19.6%	3,000組	340組	11.3%	3,000組	449組	15.0%	3,000組	R4年度で事業終了				
②開催回数	84回	28回	33.3%	84回	38回	45.2%	84回	60回	71.4%	84回					
総合評価	26.5%			28.3%			43.2%			0.0%			#DIV/0!		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円	/	1,801千円	1,330千円	/	1,359千円	1,227千円	/			/			/
------------	-----	-----	---	---------	---------	---	---------	---------	---	--	--	---	--	--	---

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	
成果・課題	
今後の取組内容	

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染拡大前には、約3,000人の来所、来所率も7割近く、疾病の早期発見・健康保持を図るだけでなく、保護者の育児に関する孤立防止を支援することができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.50	離乳食教室(1回食・2回食)	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	乳幼児の健やかな成長を目指し、保護者の育児に対する不安を軽減するため、離乳食(1回食・2回食)の進め方の講義と実演・試食を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①参加者数(1回食) (延)	1,400人	333人	23.8%	1,400人	441人	31.5%	1,400人	735人	52.5%	1,400人	746人	53.3%	1,400人	789人	56.4%
②開催回数(1回食)	58回	45回	77.6%	58回	54回	93.1%	58回	83回	143.1%	58回	66回	113.8%	58回	48回	82.8%
③参加者数(2回食) (延)	1,200人	234人	19.5%	1,200人	233人	19.4%	1,200人	493人	41.1%	1,200人	456人	38.0%	1,200人	436人	36.3%
④開催回数(2回食)	56回	38回	67.9%	56回	42回	75.0%	56回	72回	128.6%	56回	58回	103.6%	56回	48回	85.7%
総合評価	47.2%			54.8%			91.3%			77.2%			65.3%		

事業費(予算/決算)	816千円	697千円		1,801千円	1,330千円		1,359千円	1,227千円		723千円	670千円		1,056千円	1,033千円	
------------	-------	-------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	-------	-------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	健康教育の場や市公式Webサイトでの情報発信を継続することで教室を周知し、離乳食に関する不安軽減できるよう努めた。
成果・課題	保護者向けの食生活のリーフレットを配布し、子育てをする保護者の健康を育てよう啓発した。 離乳食に関する情報はあふれていることから、離乳食に関する不安を解消できるよう努めているが、不安は多様化している。
今後の取組内容	とりわけメニューなどの作り方を紹介するなど、保護者が離乳食づくりを楽しみながら実践できる情報を提供していく。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染拡大時には教室の開催を中止したが、市公式Webサイトへ調理動画を掲載するなど情報発信を積極的に行った。 数値目標は達成できなかったが、教室開催後に相談の時間を確保することで、個別性の高い相談にも対応できるよう努めた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.51	妊婦栄養教育	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊娠中の食生活について、夫婦一緒に学ぶことをきっかけに、妊婦自身の健康と生まれてくる赤ちゃんを含めた家族の健康づくりにつなげるため、講義、グループワーク等を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①参加者数(延)	550人	112人	20.4%	550人	0人	0.0%	550人	8人	1.5%	550人	140人	25.5%	550人	177人	32.2%
②開催回数	24回	11回	45.8%	24回	0回	0.0%	24回	2回	8.3%	24回	12回	50.0%	24回	8回	33.3%
総合評価	33.1%			0.0%			4.9%			37.7%			32.8%		

事業費(予算/決算)	816千円	697千円		1,801千円	1,330千円		1,359千円	1,227千円		723千円	670千円		1,056千円	1,033千円	
------------	-------	-------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	-------	-------	--	---------	---------	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	年間8回の開催となるため、妊娠6～8か月の期間に参加可能な機会を選択できるよう日程を調整し開催した。
成果・課題	平日開催日に夫婦で参加するケースが増加している。参加者アンケートからは、今後の食生活を見直すきっかけになった等の前向きな意見が多く聞かれた。一方で、理解はできたものの実践は難しいという意見も散見された。
今後の取組内容	参加者が複数の開催日から選択できるよう日程を設定する。 妊娠期から家族で食生活を振り返るきっかけになるとともに実践につなげられるよう取り組む。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染拡大時には教室の開催を中止したが、市公式Webサイトへ調理動画を掲載するなど情報発信を積極的に行った。数値目標には届かなかったものの、近年では平日でも夫婦での参加が増加している。妊娠をきっかけに妊婦自身と赤ちゃん、家族の健康のために食生活を見直す機会にすることができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.52	妊婦歯科健診・歯みがきレッスン	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	妊婦歯科健診:指定歯科医院にて個別健診を行う。 歯みがきレッスン:歯みがき指導や個別相談を実施する。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①妊婦歯科健診参加者数(延)	1,000人	1,337人	133.7%	1,000人	1,656人	165.6%	1,000人	1,551人	155.1%	1,000人	1,448人	144.8%	1,000人	1,533人	153.3%
②歯みがきレッスン参加者数(延)	1,000人	203人	20.3%	1,000人	252人	25.2%	1,000人	469人	46.9%	1,000人	515人	51.5%	1,000人	467人	46.7%
総合評価	77.0%			95.4%			101.0%			98.2%			100.0%		

事業費(予算/決算)	9,409千円	9,408千円		12,178千円	11,460千円		11,101千円	10,740千円		10,810千円	10,015千円		10,792千円	10,608千円	
------------	---------	---------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	一部の歯みがきレッスンでWEB申込を導入した。
成果・課題	WEB申込導入により、申込人数が増加した。また、開庁時間外の申込が多いことから、参加者の利便性が向上したと考える。 全歯みがきレッスンでWEB申込が導入できていないことが課題である。
今後の取組内容	全歯みがきレッスンについてWEB申込の導入を進めていく。 妊婦歯科健診については、妊婦歯科健診受診後の様子について把握する方法を検討していく。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で教室を休止していた時期は市公式Webサイトにて情報発信に努めた。 それ以降は感染予防に最大限配慮し、個別指導の充実、模型での体験を取り入れながら、徐々に歯みがきの実技へと移行した。 妊婦歯科健診については、個別健診のためか受診者数に大幅な増減はみられなかった。妊娠届出時の個別の説明と妊婦対象の講座での周知啓発等が効果的に行われたと思われる。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.53	予防接種事業	所管課	保健センター健康支援課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	乳幼児の予防接種は、出生届、転入の際等に「市川市予防接種手帳」を交付、学童以降の予防接種については、対象年齢に個別通知を郵送し、個別に医療機関で実施する。予防接種(ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、5種混合、BCG、麻しん風しん、水痘、おたふくかぜ、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん)を個別に実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①接種者数(延)	116,550人	110,376人	94.7%	121,100人	100,080人	82.6%	121,100人	108,659人	89.7%	121,100人	106,678人	88.1%	121,100人	102,300人	84.5%
総合評価	94.7%			82.6%			89.7%			88.1%			84.5%		

事業費(予算/決算)	1,136,598千円	1,118,193千円		1,195,934千円	1,052,585千円		1,219,432千円	1,147,287千円		1,482,868千円	1,209,745千円		1,216,412千円	1,406,529千円	
------------	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--	-------------	-------------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	市川市予防接種手帳の作成、交付、個別通知で予防接種の必要性、重要性を周知したことに加え、市公式Webサイト、広報紙で周知をした。
成果・課題	全体的に接種者数の減がみられた。要因として出生数の減も考えられるが、予防接種の重要性を周知していく必要があると考える。
今後の取組内容	市川市医師会等と契約を結び、個別予防接種を実施していく。個別通知等で予防接種の必要性、重要性を伝えていく。制度改正等、変更時には医療機関、市民に対して周知を行う。

計画期間5年間の 総括	令和2年度は接種者数が多かったものの、令和3年度は減となり、令和4年度には微増したものの、以降は減が続いている。今後も予防接種の重要性を周知していく必要があると考える。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.54	産後ケア事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	産後の援助を十分に受け付けられない産婦およびその乳児に対し、看護職等によるケアを実施することにより、産婦の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、産婦自身がセルフケア能力を育むことで、健やかな育児ができるよう支援する。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	実績
①産後ケア事業(宿泊型)利用者数	50人	67人	134.0%	50人	102人	204.0%	50人	122人	244.0%	50人	140人	280.0%	50人	193人	386.0%
総合評価	134.0%			204.0%			244.0%			280.0%			386.0%		

事業費(予算/決算)	12,929千円	12,926千円		16,620千円	16,619千円		26,583千円	24,617千円		29,553千円	29,460千円		37,086千円	37,085千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	産後ケアを多様な方法で利用できるよう、宿泊型に加えデイサービス型、訪問型の実施や、契約医療機関の受け入れ態勢の緩和に向けて取り組んだ。契約医療機関等は、宿泊型16施設(6施設増)、日帰り型11施設(5施設増)、訪問型1施設となり、合計17施設(重複施設あり)での利用が可能となった。
成果・課題	年々利用希望者が増加しており、利用後のアンケート結果からは9割の利用者から満足という回答が得られている。今後も利用者が増加することで、利用可能な実施施設が不足していく可能性がある。
今後の取組内容	より多くの利用希望に対応することができるよう、引き続き契約医療機関等の拡大を検討していく。また、契約医療機関との情報共有や意見交換を行う機会を確保、本事業の質の向上に努めていく。

計画期間5年間の 総括	利用者数が5年間で約3倍となり、数値目標を達成することができた。産婦の身体的な回復と心理的な安定を促進する産後の子育て支援として求められている事業となった。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和5年度>

事業名	No.55	不妊治療助成事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	9.母子保健の充実
事業内容	不妊治療を受けている夫婦に対し、経済的負担を軽減するため、治療費を一部助成する。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①申請者数(延)	515人	707人	137.3%	515人	1,640人	318.4%	515人	1,010人	196.1%	515人	290人	56.3%	515人	77人	15%
総合評価	137.3%			318.4%			196.1%			56.3%			15.0%		

事業費(予算/決算)	43,209千円	43,205千円		91,555千円	89,863千円		69,837千円	52,002千円		18,990千円	11,014千円		2,593千円	2,583千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	令和4年4月1日から不妊治療が保険適用になったことに伴い令和5年度で事業は終了となっているが、経過措置として、令和6年5月末まで申請受付を実施した。事業終了については、広報いちかわや市公式webサイト、SNS等を用いて広く周知を行った。
成果・課題	経過措置として、令和6年5月末まで申請受付を実施した。
今後の取組内容	事業終了については、広報いちかわや市公式webサイト、SNS等を用いて広く周知を行っていく。

計画期間5年間の 総括	特定不妊治療は、平成31年度から令和5年度末まで、一般不妊治療は、令和3年度から令和6年5月31日まで実施した。千葉県が実施していた特定不妊治療費の助成制度は終了したことにより、市川市も特定不妊治療費助成の上乗せ助成を終了、一般不妊治療費助成も終了した。不妊治療を受けている夫婦に対して治療費を一部助成することで、経済的負担の軽減につながったと考える。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.56	急病診療所運営事業	所管課	保健医療課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	急病診療所においては、休日や夜間の急な病気の初期診療を行うため、内科、小児科、外科(土、日、祝日および年末年始のみ)の診療を実施します。休日急病等歯科診療所においては、休日に急な歯の痛み等の応急処置を行うために、日、祝日、盆期および年末年始に診療を実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	実績
①利用者数(延)(急病診療所)	17,000人	4,359人	25.6%	17,000人	5,706人	33.6%	17,000人	9,298人	54.7%	17,000人	17,169人	101.0%	17,000人	15,198人	89.4%
②医師の待機日数(急病診療所)	365日	365日	100.0%	365日	365日	100.0%	365日	365日	100.0%	365日	366日	100.3%	365日	365日	100.0%
③施設数(急病診療所)	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1	100.0%
④利用者数(延)(休日急病等歯科診療所)	560人	567人	101.3%	560人	400人	71.4%	560人	355人	63.4%	560人	372人	66.4%	560人	390人	69.6%
⑤医師の待機日数(休日急病等歯科診療所)	75日	75日	100.0%	72日	74日	102.8%	75日	74日	98.7%	75日	74日	98.7%	73日	76日	104.1%
⑥施設数(休日急病等歯科診療所)	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%	1ヵ所	1ヵ所	100.0%
総合評価	87.8%			84.6%			86.1%			94.4%			93.9%		

事業費(予算/決算)	329,405千円	318,153千円		478,439千円	454,232千円		340,765千円	330,447千円		446,884千円	400,733千円		548,037千円	486,097千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の<今後の取組内容>に対する取り組み	前年度の<今後の取組内容>は「新型コロナウイルス感染防止対策に努め、さらに円滑な運営に努める。」であったが、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関と協力し、円滑な運営を行った。
成果・課題	想定外のインフルエンザ流行など受診者数の傾向が予測できない中で、安定した診療体制を維持していくことが課題である。
今後の取組内容	医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関と定期的に協議を行い、問題発生時には速やかに解決する等、円滑な運営に努めていく。

計画期間5年間の総括	急病診療所運営事業として急病診療所および休日急病等歯科診療所での診察を計画どおり行い、開設日数・利用者数などの数値目標について概ね達成。本施策の方向性である「小児救急医療の充実」に寄与した。
------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.57	あんしんホットダイヤル	所管課	保健医療課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	夜間や休日に診療している病院などが知りたいとき、急な病気やケガの対処に困ったとき、健康に関する相談がしたいとき、子育てに関する相談がしたいとき等に問い合わせができ、医師、保健師、看護師などから適切なアドバイスを受けられるフリーダイヤルのテレフォンサービスを24時間年中無休で実施します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用件数	24,000件	21,370件	89.0%	24,000件	20,412件	85.1%	24,000件	25,424件	105.9%	24,000件	22,067件	91.9%	24,000件	19,347件	80.6%
総合評価	89.0%			85.1%			105.9%			91.9%			80.6%		

事業費(予算/決算)	27,456千円	27,456千円		28,609千円	28,336千円		28,776千円	28,776千円		28,776千円	28,776千円		28,880千円	28,776千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	前年度の<今後の取組内容>は「必要時に利用できるように、広報やホームページなどを活用し、周知機会を増やす。」であったが、市のホームページに案内を掲載、関係各所での掲示、また案内用のカードを作成し配布するなどし周知を行った。
成果・課題	昨年度に引き続き利用件数が減数となっているため、周知についてさらに検討する。
今後の取組内容	引き続き必要時に利用できるよう、広報やホームページなどを活用し周知機会を増やす。

計画期間5年間の 総括	急病医療情報案内事業として「あんしんほっとダイヤル」を計画どおりを24時間年中無休で開設し、数値目標である利用件数は概ね達成。本施策の方向性である「小児救急医療の充実」に寄与した。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.58	2次救急医療運営事業	所管課	保健医療課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	主治医や急病診療所では扱えない病気、入院・手術が必要な場合および急病診療所の対応時間外における受け入れ体制の充実のため、救急医療体制(2次)を整備します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	104人	126人	121.2%	104人	141人	135.6%	104人	147人	141.3%	104人	163人	156.7%	104人	186人	178.8%
②医師の待機日数	365日	365日	100.0%	365日	365日	100.0%	365日	365日	100.0%	365日	366日	100.3%	365日	365日	100.0%
③施設数	8カ所	7カ所	87.5%	8カ所	7カ所	87.5%	8カ所	7カ所	87.5%	8カ所	7カ所	87.5%	8カ所	8カ所	100.0%
総合評価	102.9%			107.7%			109.6%			114.8%			126.3%		

事業費(予算/決算)	82,593千円	82,593千円		82,652千円	82,652千円		82,593千円	82,593千円		83,230千円	83,231千円		82,729千円	82,728千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	前年度の<今後の取組内容>は、「継続して医師会等の関係機関の協力を得て、医療体制の充実を図るようにしていく。」であったが、計画通り医療体制を整えた。
成果・課題	医師会等関係医療機関の協力を得ながら事業を継続することができ、利用者数も増加することとなった。
今後の取組内容	継続して医師会等の関係機関の協力を得て、医療体制の充実を図るようにしていく。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.59	2.5次救急医療運営事業	所管課	保健医療課
基本目標	4.子どもと子育て家庭の健康づくり		施策の方向	10.小児救急医療の充実
事業内容	脳血管疾患、循環器疾患等の重篤救急患者および小児科をはじめ、夜間・休日の対応の少ない診療科の受け入れ体制の充実のため、1次・2次の救急医療機関の後方病院的役割を担うため整備された救急医療体制(2.5次)を維持します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①医師の待機日数(小児科医)	365日	365日	100.0%	365日	365日	100.0%	365日	365日	100.0%	365日	366日	100.3%	365日	365日	100.0%
②施設数(市内の小児科医療機関)	3カ所	3カ所	100.0%	3カ所	3カ所	100.0%	3カ所	3カ所	100.0%	3カ所	3カ所	100.0%	3カ所	3カ所	100.0%
総合評価	100.0%			100.0%			100.0%			100.1%			100.0%		

事業費(予算/決算)	107,426千円	107,426千円		108,048千円	107,643千円		107,426千円	107,426千円		108,243千円	108,243千円		108,639千円	108,638千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の<今後の取組内容>に対する取り組み	前年度の<今後の取組内容>は、「小児科について2.5次医療機関での小児科医の待機日数を年365日とするなど、引き続き2.5次医療体制の維持を図る。」であったが、本年度も2.5次医療機関での小児科医の待機日数は365日となり、2.5次医療体制を維持した。
成果・課題	小児科については、2.5次病院である順天堂大学医学部附属浦安病院、東京ベイ浦安・市川医療センター、東京歯科大学市川総合病院の3院で365日体制の医療体制をとっており、小児科は2.5次の医療機関への搬送が約8割と高いことから、今後も2.5次医療体制の維持を図る。
今後の取組内容	引き続き、小児科について2.5次医療機関での小児科医の待機日数を年365日とするなど、2.5次医療体制の維持を図る。

計画期間5年間の総括	2.5次救急医療運営事業として、計画どおり2.5次医療機関での小児科医を365日待機する体制をとり、待機日数・施設数の数値目標を達成。本施策の方向性である「小児救急医療の充実」に寄与した。
------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.60	要保護児童への支援事業(要保護児童対策地域協議会)	所管課	こども家庭相談課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	11.虐待防止・対応のための取り組みの充実
事業内容	要保護児童等への適切な支援を実施するため、協議会を活用して、関係機関(警察、法務局、児童相談所等)国県の関係機関、市関係機関、医師会、歯科医師会、人権擁護委員協議会、学校長連絡協議会、民生委員児童委員協議会、青少年相談員連絡協議会等)の情報を共有し、支援内容の検討・評価・進行管理を行うなどして、連携を強化します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①支援児童数(実)	550件	700件	127.3%	550件	913件	166.0%	550件	863件	156.9%	550件	982件	178.5%	550件	848件	154.2%
総合評価	127.3%			166.0%			156.9%			178.5%			154.2%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の ＜今後の取組内容＞ に対する取り組み	要保護児童対策地域協議会において関係機関との情報共有、連携を継続的に図ることで、要保護児童および家族への支援を実施した。
成果・課題	会議にて関係機関との情報共有や支援内容の検討が図れたことにより、関係機関との連携や支援体制づくりにもつながっている。
今後の取組内容	引き続き関係機関との情報共有と連携を図ることにより、更なる支援体制の強化を図っていく。

計画期間5年間の 総括	市町村と児童相談所の取り扱い児童に関する会議を定期的で開催することで、要保護児童の状況、進行管理および体制の検討を関係機関と共に協議することができた。 また、管内の児童や家庭に関する情報共有を図ることで支援体制を強化することができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.61	養育支援訪問事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	11.虐待防止・対応のための取り組みの充実
事業内容	児童虐待相談や保健センターの新生児訪問等により、児童の養育について積極的に支援することが必要と判断される家庭に対し、ヘルパー等を派遣して養育に関する指導、助言、家事・育児援助等を行うことにより、家庭における児童の適切な養育環境を確保していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	実績
①利用者(実)	6件	9件	150.0%	6件	7件	116.7%	6件	4件	66.7%	6件	3件	50.0%	6件	8件	133.3%
総合評価	150.0%			116.7%			66.7%			50.0%			133.3%		
事業費(予算/決算)	732千円	1,034千円		932千円	932千円		500千円	500千円		1,037千円	554千円		980千円	693千円	

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	養育困難な家庭や虐待予防効果が見込まれる家庭への導入を進め、適切な養育環境に整えるための支援を実施することで、家庭における児童の適切な養育環境を確保した。
成果・課題	ネグレクトや養育困難家庭において、集中的な居宅支援を行うことによりこどもの安全を図ることができた。 支援ニーズが高い家庭については、養育支援終了後を見据えた他制度のサービス利用の調整が必要である。
今後の取組内容	養育困難、虐待予防効果が見込まれる家庭への介入を行い、適切な養育環境に整えるための支援を実施していく。

計画期間5年間の 総括	養育困難、虐待予防効果が必要とされる家庭、他制度サービスの利用を見据えてヘルパー等の派遣を実施した。 数値目標には届かなかったが、乳幼児の体重増加や家庭環境の定期的なモニタリング活動を行うことで、こどもの安全確保につながった。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.62	児童扶養手当(母子家庭)	所管課	子育て給付課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①支給児童数(延)	36,320人	31,244人	86.0%	36,320人	30,169人	83.1%	36,320人	28,907人	79.6%	36,320人	28,025人	77.2%	36,320人	27,280人	75.1%
総合評価	86.0%			83.1%			79.6%			77.2%			75.1%		

事業費(予算/決算)	950,347千円	882,994千円		929,016千円	851,825千円		883,142千円	820,793千円		813,186千円	810,808千円		821,039千円	821,039千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	令和6年度より新たに開始したLINEでの発信を積極的に活用し、今まで情報を届けることが難しかった離婚前の方への児童扶養手当の制度の周知や児童扶養手当受給者の未届を防止した。
成果・課題	(成果)情報発信をしやすい環境づくりができた。 (課題)発信頻度が低い、また、当課のみの情報では発信内容に限りがあり、ひとり親の生活安定、自立に結びついたらとは言えない。
今後の取組内容	さらなる情報を手に入れやすい環境の整備に加え、就労に関する情報を持っているハローワークとも連携しながら情報の発信を行う。また、引き続き窓口や自宅訪問時には適職に就くための技能習得や就職に有利な資格取得の就労支援等、ひとり親の自立支援制度の案内。利用の促進を継続的行っていくことで、児童扶養手当受給者の生活の安定・自立につなげていきたい。
計画期間5年間の 総括	LoGoフォームや郵送の活用により児童扶養手当受給者の手続き上の負担を軽減、また、LINEを新たに開始したことにより着実に届けたい情報を届けられる環境づくりは進んでいると考える。ただし、未だにひとり親の生活の安定と自立を結びつけている状況とは言えない。

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.63	児童扶養手当(父子家庭)	所管課	子育て給付課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	父子家庭の生活の安定と自立を助け、児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給児童数(延)	1,542人	1,213人	78.7%	1,542人	1,250人	81.1%	1,542人	1,372人	89.0%	1,542人	1,197人	77.6%	1,542人	1,085人	70.4%
総合評価	78.7%			81.1%			89.0%			77.6%			70.4%		

事業費(予算/決算)	950,347千円	882,994千円		929,016千円	851,825千円		883,142千円	820,793千円		813,186千円	810,808千円		821,039千円	821,039千円	
------------	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	令和6年度より新たに開始したLINEでの発信を積極的に活用し、今まで情報を届けることが難しかった離婚前の方への児童扶養手当の制度の周知や児童扶養手当受給者の未届を防止した。
成果・課題	(成果)情報発信をしやすい環境づくりができた。 (課題)発信頻度が低い、また、当課のみの情報では発信内容に限りがあり、ひとり親の生活安定、自立に結びついたらとは言えない。
今後の取組内容	さらなる情報を手に入れやすい環境の整備に加え、就労に関する情報を持っているハローワークとも連携しながら情報の発信を行う。また、引き続き窓口や自宅訪問時には適職に就くための技能習得や就職に有利な資格取得の就労支援等、ひとり親の自立支援制度の案内。利用の促進を継続的行っていくことで、児童扶養手当受給者の生活の安定・自立につなげていきたい。

計画期間5年間の 総括	LoGoフォームや郵送の活用により児童扶養手当受給者の手続き上の負担を軽減、また、LINEを新たに開始したことにより着実に届けたい情報を届けられる環境づくりは進んでいると考える。ただし、未だにひとり親の生活の安定と自立を結びつけている状況とは言えない。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.64	ひとり親家庭等医療費助成事業	所管課	子育て給付課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	ひとり親家庭および父母のいない児童を養育する家庭の福祉の増進を図るため、これらの家庭の医療費(保険適用分)の一部を助成します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①助成対象者数(実)	1,276人	1,085人	85.0%	1,276人	3,604人	282.4%	1,276人	3,643人	285.5%	1,276人	3,662人	287.0%	1,276人	3,681人	288.5%
総合評価	85.0%			282.4%			285.5%			287.0%			288.5%		

事業費(予算/決算)	32,748千円	30,927千円		61,569千円	61,472千円		115,253千円	114,851千円		148,231千円	148,179千円		147,100千円	146,616千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	未発行期間が生じないよう広報等や関係機関窓口で制度の周知を行った。
成果・課題	(成果)制度周知を行い、適切に受給券の交付を行うことができた。 (課題)書類での申請が多いため、電子申請などの導入を検討する。
今後の取組内容	引き続き未発行期間が生じないよう広報等で周知を行い、子育て家庭の経済的負担を軽減していく。

計画期間5年間の 総括	令和3年度に現物給付化、令和5年度に自己負担金の無償化を行ったことにより、利便性が向上するとともに経済的負担が軽減されたと考えられる。 今後、受給資格の電子確認や受給券の電子申請等を導入するなど、保護者の更なる利便性の向上・負担軽減に努めていきたい。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.65	遺児手当支給事業	所管課	子育て給付課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	両親もしくはどちらか一方が死亡、1年以上の生死不明または障がいとなった場合、その児童の健全な育成を図るため、手当を支給します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給児童数(延)	2,082人	1,826人	87.7%	2,082人	1,870人	89.8%	2,082人	1,677人	80.5%	2,082人	1,751人	84.1%	2,082人	1,810人	86.9%
総合評価	87.7%			89.8%			80.5%			84.1%			86.9%		

事業費(予算/決算)	15,347千円	13,427千円		14,820千円	13,621千円		13,128千円	12,174千円		13,620千円	12,620千円		13,025千円	13,025千円	
------------	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	引き続き関係課との連携を行いつつ、制度への理解及び周知の充実を図る。
成果・課題	義務教育修了前の遺児を養育している保護者に対して手当を支給し、その児童の健全な育成を図ることができた。
今後の取組内容	引き続き関係課との連携を行いつつ、制度への理解及び周知の充実を図る。

計画期間5年間の 総括	関係課と連携を行い、制度への理解及び周知を図り、義務教育終了前の遺児を養育している保護者に対して手当を支給し、その児童の健全な育成を図ることができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.66	ひとり親相談事業	所管課	子育て給付課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	ひとり親家庭の生活や就労に関して、母子自立支援員が相談に応じ、自立に向けた相談・支援を行います。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①相談件数	210件	28件	13.3%	210件	155件	73.8%	210件	166件	79.0%	210件	154件	73.3%	210件	219件	104.3%
②相談員の体制	2人	2人	100.0%	2人	2人	100.0%	2人	3人	150.0%	2人	3人	150.0%	2人	3人	150.0%
総合評価	56.7%			86.9%			114.5%			111.7%			127.1%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円		0千円	0千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	児童扶養手当新規認定時や各種届出の際にも相談窓口の周知を行い、相談者の生活状況や意向にそった相談支援を行った。
成果・課題	(成果)電話や来所相談において、個々の状況に応じた相談支援を実施することができた。 (課題)国の母子・父子自立支援プログラム策定事業の拡大に合わせ相談支援の充実を図りたいが相談員の人数の不足はある。
今後の取組内容	母子父子自立支援員に加え職員でも対応できるようマニュアルの整備などをし、相談支援の拡充を図る。

計画期間5年間の 総括	相談窓口の周知により相談件数が着実に増え、相談者の生活状況や意向にそった相談支援を行うことができた。 相談件数の増加に対し、相談員の人数が増えていないため、不足感がある。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.67	母子の緊急一時保護事業	所管課	こども家庭相談課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	経済的困窮、DV避難、火災等により居所がなくなってしまった母子を、施設において一時的に保護するとともに、自立に向けた支援を行います。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①利用者数(延)	25世帯	73世帯	292.0%	25世帯	0世帯	0.0%	25世帯	0世帯	0.0%	25世帯	4世帯	16.0%	25世帯	0世帯	0.0%
総合評価	292.0%			0.0%			0.0%			16.0%			0.0%		

事業費(予算/決算)	234千円	753千円		102千円	0千円		322千円	0千円		321千円	41千円		308千円	0千円	
------------	-------	-------	--	-------	-----	--	-------	-----	--	-------	------	--	-------	-----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	家庭の状況に応じて母子の安全を確保し、自立に向けた支援を図った。
成果・課題	突発に緊急一時保護が必要となる場合に備え、対応できるように受け入れ施設と連携を図り支援体制を整えた。入所後を見据えた他制度のサービス利用の調整が必要である。
今後の取組内容	母子の受け入れ施設と連携を図り、安全を確保するとともに自立に向けた支援を実施していく。

計画期間5年間の 総括	緊急一時保護が必要となる場合には、関係機関と連携を図り、家庭の状況に応じて母子の安全を確保するとともに自立に向けた支援を実施することができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.68	ひとり親家庭自立支援事業	所管課	子育て給付課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	12.ひとり親家庭等の自立のための支援の充実
事業内容	ひとり親家庭の父・母が技能習得のために教育訓練講座を受講し修了した場合、その費用の一部を支給します。また、同じく看護師等の資格取得するため養成機関で修業する場合、修業期間の生活費として給付金を支給します。 就労を希望する場合には、母子自立支援員が相談者の意向や生活状況、就労経験等を考慮して、ハローワークと連携しながら相談者の状況に合った就労支援プログラムを作成し、自立を支援します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①自立支援教育訓練給付金事業(実)	6人	9人	150.0%	6人	4人	66.7%	6人	4人	66.7%	6人	5人	83.3%	6人	6人	100.0%
②高等職業訓練促進給付金等事業(実)	8人	7人	87.5%	8人	7人	87.5%	8人	16人	200.0%	8人	15人	187.5%	8人	15人	187.5%
③自立支援プログラム作成事業利用者数(実)	5人	2人	40.0%	5人	1人	20.0%	5人	13人	260.0%	5人	7人	140.0%	5人	4人	80.0%
総合評価	92.5%			58.1%			175.6%			136.9%			122.5%		

事業費(予算/決算)	10,801千円	8,292千円		9,911千円	8,216千円		14,382千円	14,194千円		17,626千円	15,152千円		17,727千円	17,180千円	
------------	----------	---------	--	---------	---------	--	----------	----------	--	----------	----------	--	----------	----------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	児童扶養手当新規認定時や各種届出の際に、自立支援等の制度について周知を図り、より適職に就くための技能習得や就職に有利な資格取得の就労支援を行うこと、そして国の離婚前後親支援事業を活用した、養育費確保支援事業の実施により、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進を図った。
成果・課題	(成果)周知の効果もあり、利用者増につながった。 (課題)資格を取得したことで収入増につながっているか資格取得後のフォローアップが不十分。
今後の取組内容	引き続き、各種届出の際に制度の周知を図り、利用者増につなげていく。また、資格取得後の収入増につながっているか電話などでフォローアップを図り、収入の安定、ひとり親世帯の自立を促していく。

計画期間5年間の 総括	計画当初に比べて利用者が増え、より適職に就くための技能習得や就職に有利な資格取得の就労支援を行うことができた。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.69	こども発達相談室事業	所管課	発達支援課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容	発達の支援が必要な子どもの相談を受け付け、一人ひとりに応じた個別支援計画に基づき、個別及びグループ支援や家族支援を行います。(継続ケースについては、心理療法、言語療法は、小学3年まで。また作業療法、理学療法については、18才まで。)さらに公共施設等で、相談と指導の地域拠点を定期的に設け、継続的な支援が受けやすくなるようにします。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①相談件数	11,000件	8,769件	79.7%	11,000件	11,020件	100.2%	11,000件	10,807件	98.2%	11,000件	10,340件	94.0%	11,000件	10,142件	92.2%
②対象年齢	小学校3年まで	小学校3年まで	-	小学校3年まで	小学校3年まで	100.0%	小学校3年まで	小学校3年まで	100.0%	小学校3年まで	電話相談は18歳まで。対面での相談は小学校3年生程度まで	100.0%	小学校3年まで	18歳まで	100.0%
③施設数	5カ所	5カ所	100.0%	5カ所	5カ所	100.0%	5カ所	6カ所	120.0%	5カ所	6カ所	120.0%	5カ所	6カ所	120.0%
総合評価	89.9%			100.1%			106.1%			104.7%			104.1%		

事業費(予算/決算)	25,090千円	23,113千円		3,937千円	3,592千円		3,517千円	3,218千円		3,765千円	3,270千円		4,122千円	3,781千円	
------------	----------	----------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	初回面談までの待機日数については、相談希望者が増える傾向がある月に、初回面談の枠を増やすなどして待機日数が延長しないよう工夫をした。また対面での学齢期児童の相談に関しては、これまで就学前に当室に相談歴がある児童、保護者のみ、年3回までの条件で相談を受け付けていたが、令和6年度は相談歴の有無を問わず、必要に応じて相談を受けられるようにし、18歳までの相談を受け入れられるよう段階的に相談対象の拡大を図った。
成果・課題	成果： 初回相談待機日数は平均16.2日で令和5年度(平均21.4日)よりも短縮した。相談件数10,340件から10,142件に減少しているが、電話相談件数は1,145件から1,270件に増加した。学齢期児童の相談に対しては、教育センターとの連携強化に向けて協議を行った。 課題： 引き続き、学齢期児童の相談については電話での相談だけではなく、保護者の希望に応じて対面での相談を受けられるようにしていく必要がある。相談対象の拡大に伴い、こども発達相談室から他機関へ相談の引継ぎを行うケースも増加すると考えられるが、引継ぎの際には電話だけではなく対面で行うなど丁寧な引継ぎを行い、相談者の負担軽減を図る必要がある。
今後の取組内容	初回相談までの待機日数は現状維持しながら、幅広い年齢の児童、保護者からの相談を受けられるようにしていく。学齢期の児童についてはこれまでの電話相談に加え、対面での相談もできるように他機関と連携、調整を図る。また気軽に相談できる窓口を周知していくために、市川市公式Webサイトやパンフレットをよりわかりやすいものになるよう工夫を行う。

計画期間5年間の 総括	初回面談までの待機期間が当初約2か月になっていたが、年平均2週間前後まで短縮することができたことや、子ども発達相談室の相談対象を18歳までに拡大することにより、市民サービスが向上した。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.70	発達障がい理解と支援のための研修	所管課	発達支援課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容	障がい児への理解の促進及び教育や保育現場で活かせるような障がいの特性を理解した支援や援助の方法を習得していくための研修や、あおぞらキッズ・おひさまキッズの療育内容を活用した研修会を開催していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受講者数(延)	400人	155人	38.8%	400人	200人	50.0%	400人	196人	49.0%	400人	279人	69.8%	400人	453人	113.3%
②研修の実施	40回	13回	32.5%	40回	21回	52.5%	40回	14回	35.0%	40回	27回	67.5%	40回	23回	57.5%
総合評価	35.6%			51.3%			42.0%			68.6%			85.4%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円	/	0千円	0千円	/	0千円	0千円	/	0千円	0千円	/	0千円	0千円	/
------------	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---

前年度の <今後の取組内容> に対する取り組み	研修内容を保育園で共有することに関しては、保育施設で実践されている支援の方法をまとめ、解説付き資料を作成、配布することに加え、こどもにとって効果的な環境設定の方法などを、様々な支援ツールを使用して見本を示し、わかりやすい伝達の仕方について具体的に説明するようにした。
成果・課題	成果: 研修回数は27回から23回に減ったが、放課後保育クラブの支援員向けの研修を実施したため、研修参加者は279人から453人に増加した。研修後のアンケートより、支援方法をまとめた解説付き資料には文章だけではなく、子どもの特性に合った環境設定などが写真などでわかりやすく掲載されていたので、所属園の他の職員に対して伝達しやすかった、また改めてお子さんへの対応の仕方や、環境設定の工夫を再確認できたなどの感想を得た。 課題: 園の方針や環境によっては、研修で学んだことを実際の保育に反映させていくことが難しいという意見があった。研修受講者が他の保育士等にどのように情報を伝え、共有するかについて、具体的な提案が必要である。
今後の取組内容	引き続き、研修受講者が研修で学んだことを所属園の他の保育士等に伝達、情報共有しやすいように、支援グッズの使い方や、環境設定などについて具体的に提示するとともに、わかりやすい説明の仕方についても伝えていく。また支援内容に関する解説付き資料の工夫、作成、配布を行っていく。

計画期間5年間の 総括	研修を受けやすい研修場所を増やしたり、研修内容、資料等の工夫を重ね、研修受講者は毎年増加し、発達障害についての理解や、対応の仕方についての周知を進めることができた。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.71	発達障害児保育(保育園)	所管課	幼保施設管理課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容	配慮を要する子どもの保育の実施にあたっては、こども発達センターの指導・助言を受け、連携してすすめていきます。また、保育士に対する研修も実施していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①障がい児受入可能施設	175カ所	197カ所	112.6%	196カ所	209カ所	106.6%	213カ所	211カ所	99.1%	223カ所	220カ所	98.7%	223カ所	222カ所	99.6%
総合評価	112.6%			106.6%			99.1%			98.7%			99.6%		

事業費(予算/決算)															
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	保育園の施設を利用し公開保育を実施することで、インクルーシブ保育の実践に向けた環境作りや手立てを学び合うことに努めていく。
成果・課題	保育園の巡回や、公開保育で研修を行うことで、保育士の意欲が高まり、こども達の特性に合わせた環境作りが少しずつ進んでいるように感じる。園内の情報共有と連携の中で、担当が孤立せず、チームとして、インクルーシブ保育に取り組めるようにしていくことが課題である。
今後の取組内容	市内の保育施設の巡回支援の回数を増やし、公開保育や研修を継続することで、一人ひとりの特性に合わせた保育の専門性を高めていく。

計画期間5年間の 総括	コロナ禍で研修等が対面で行えない時期があったが、巡回支援・研修や公開保育を工夫しながら継続することが出来た。研修等が対面で行えるようになり、よりその場での疑問や不安の解消と共に、市内の保育施設の質の向上につなげられたと考える。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.72	幼児教育相談	所管課	指導課
基本目標	5.配慮を要する子ども・子育て家庭への支援		施策の方向	13.発達の支援が必要な子ども・子育て家庭への支援の充実
事業内容	特別支援教育の充実を図るため、幼児教育相談員が公立・私立幼稚園を巡回し、教諭への指導助言や保護者の相談に対応します。また、未就学児をもつ保護者の相談にも対応します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①相談件数(延)	900件	1,056件	117.3%	900件	1,146件	127.3%	900件	1,196件	132.9%	900件	1,268件	140.9%	900件	1,299件	144.3%
②相談員体制	5人	5人	100.0%	5人	5人	100.0%	5人	7人	140.0%	5人	8人	160.0%	5人	6人	120.0%
総合評価	108.7%			113.7%			136.4%			150.4%			132.2%		

事業費(予算/決算)	3,743千円	3,444千円		3,713千円	3,325千円		3,686千円	3,566千円		3,241千円	3,223千円		3,477千円	3,197千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の ＜今後の取組内容 ＞ に対する取り組み	幼児教育相談員の助言をもとに個別の配慮が必要な幼児を受け持つ教諭への指導配慮の充実。 幼稚園子育て相談の保護者支援として、0歳から就学前の幼児を持つ保護者への子育て相談の対応をする。
成果・課題	成果としては、市川市の少子化に伴い、公私立幼稚園の園児数減少がうかがえる。特に公立幼稚園の園児減少が著しいが、個別の配慮を要する子どもが増え相談件数が増えているため、幼児教育相談員の巡回は重要な取り組みとなっている。 今後は、市川市の幼児教育推進事業として子ども達が小学校への入学の際、公私立幼稚園の教育の格差を解消し標準化を目指し特別支援の理解を深め質の高い教育を目指していくことを課題として取組んでいく。
今後の取組内容	幼児教育相談員の助言をもとに個別の配慮が必要な幼児を受け持つ教諭への指導配慮の充実と保護者支援で、0歳から就学前の幼児を持つ保護者への子育て相談の対応をする。 幼児教育相談員の人数が減ってきていること、高齢化しているので採用に力を入れていくと共に後継につながるようにしていく。 幼児教育相談員の巡回業務を充実させると共に、公私立幼稚園の教育の格差を無くしていくよう、指導主事が私立幼稚園に同行しながら実態把握を行っていく。 幼稚園子育て相談の日程をこれ以上減らさぬようにし、入園前の幼児に対しての子育て相談を広く周知し、充実するよう勧めていく。

計画期間5年間の 総括	市川市の実情で少子化に伴い、公立幼稚園の園児減少が著しく進む中で、個別の配慮を要する子どもへの対応が増え、それに伴って相談件数も増加している。 私立幼稚園の巡回に際しては希望している園の実態把握のため、幼児教育相談員に同行することで、私立幼稚園の様子を知ることができてきている。 少子化ではあるが、核家族化している子育て世代に対して、広報・ホームページなどで幼稚園子育て相談を紹介することで、発達の不安や子育てのノウハウを教わるきっかけになっている。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.73	雇用促進奨励金(母子家庭の母等)	所管課	商工課
基本目標	6.仕事と子育ての両立支援		施策の方向	14.仕事と子育ての両立支援
事業内容	母子家庭の母等の常用雇用を促進するため、公共職業安定所の紹介等で母子家庭の母等を雇用した事業主に対して奨励金を交付します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①受給者数(実)	7人	3人	42.9%	7人	3人	42.9%	7人	4人	57.1%	7人	2人	28.6%	7人	3人	42.9%
総合評価	42.9%			42.9%			57.1%			28.6%			42.9%		

事業費(予算/決算)	3,803千円	3,580千円		3,916千円	3,390千円		4,140千円	3,395千円		4,080千円	2,310千円		3,600千円	2,520千円	
------------	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--	---------	---------	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	申請案内を送付した事業主に対し、申請漏れがないよう呼びかけを行った。 また、労働環境が向上するよう、事業主に対して働き方改革に関する情報提供を、市公式Webサイトやメールマガジンで行った。
成果・課題	申請率が依然として低いことから、目標値には達していないが、令和5年度からは1人増となった。 市公式Webサイトで制度の詳細や様式等の案内を行い、申請漏れがないよう個別に案内をしているが、対象者が退職している、市外に転出している等で申請の条件を満たさない場合がある。 また、母子家庭の母等が長く働き続けることができる環境を整えていくことも課題である。
今後の取組内容	市川市雇用促進奨励金交付規則の改正により、母子家庭の母等を雇用した事業主への奨励金の交付は令和6年度で終了となったが、引き続き市公式Webサイトやメールマガジン等で、母子家庭の母等の雇用促進につながる情報提供を行っていく。

計画期間5年間の 総括	計画期間5年間の達成率の平均値は約43%であり、やや不十分な結果とはなったものの、毎年一定数の交付実績があることから、母子家庭の母等の雇用促進と就業の継続を図るために有効な事業だったと言える。
----------------	--

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.74	いちかわ子育て応援企業認定事業	所管課	こども施策課
基本目標	6.仕事と子育ての両立支援		施策の方向	14.仕事と子育ての両立支援
事業内容	子育てにやさしいまちづくりを推進するため、子どもや子育てにやさしい取り組みを進める企業を「いちかわ子育て応援企業」として認定します。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①新規認定企業数	5社	0社	0.0%	5社	0社	0.0%	5社	0社	0.0%	5社	0社	0.0%	5社	0社	0.00%
総合評価	0.0%			0.0%			0.0%			0.0%			0.0%		

事業費(予算/決算)	0千円	0千円		0千円	0千円		7千円	7千円		0千円	0千円		千円	千円	
------------	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	-----	-----	--	----	----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	HPにおいて事業者の募集を継続して行った。
成果・課題	市独自の取り組みとして事業を行ってきたが、計画期間中の認定企業はなかった。
今後の取組内容	県において、企業参画型子育て支援事業(チーパス事業)と内容が重なる部分があることから、今後のあり方を検討していく。

計画期間5年間の 総括	県において、企業参画型子育て支援事業(チーパス事業)と内容が重なる部分があることから、今後のあり方を検討していく。
----------------	---

■ 市川市子ども・子育て支援事業計画 進捗状況 <令和6年度>

事業名	No.75	家族の週間事業	所管課	こども施策課
基本目標	6.仕事と子育ての両立支援		施策の方向	14.仕事と子育ての両立支援
事業内容	内閣府が定める「家族の日」(11月第3日曜日)、その前後一週間の「家族の週間」に併せ、地域の企業・NPO等の協力により、子育て家庭を対象としたイベントを実施するとともに、公共施設の入場料等のサービス等を実施します。これにより、「家族の大切さ」「家族を支える地域の力」について啓発し、地域全体で子育て家庭を支援していきます。			

指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率	数値目標	実績	達成率
①参加者(延)	7,000人	0人	0.0%	7,000人	0人	0.0%	7,000人	12人	0.2%	7,000人	0人	0.0%	7,000人	0人	0.0%
②参加企業・団体	50団体	0団体	0.0%	50団体	0団体	0.0%	50団体	0団体	0.0%	50団体	0団体	0.0%	50団体	0団体	0.0%
総合評価	0.0%			0.0%			0.1%			0.0%			0.0%		

事業費(予算/決算)	442千円	0千円		323千円	0千円		200千円	100千円		千円	千円		千円	千円	
------------	-------	-----	--	-------	-----	--	-------	-------	--	----	----	--	----	----	--

前年度の <今後の取組内容 > に対する取り組み	予算確保ができず、イベントの開催を見送った。
成果・課題	—
今後の取組内容	家族の週間の周知について、国の動向等確認したうえで適切な周知方法等を検討していく。

計画期間5年間の 総括	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難となり、結果その後の予算確保が難しいものとなった。今後は国の動向を注視しつつ、適切な周知方法等を検討していく。
----------------	---